愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(一日十五日)發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座東京壹壹三六一番

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内貞三

明治四十四年八月一日發行　AUGUST 1,1911.

暑中休暇の意義

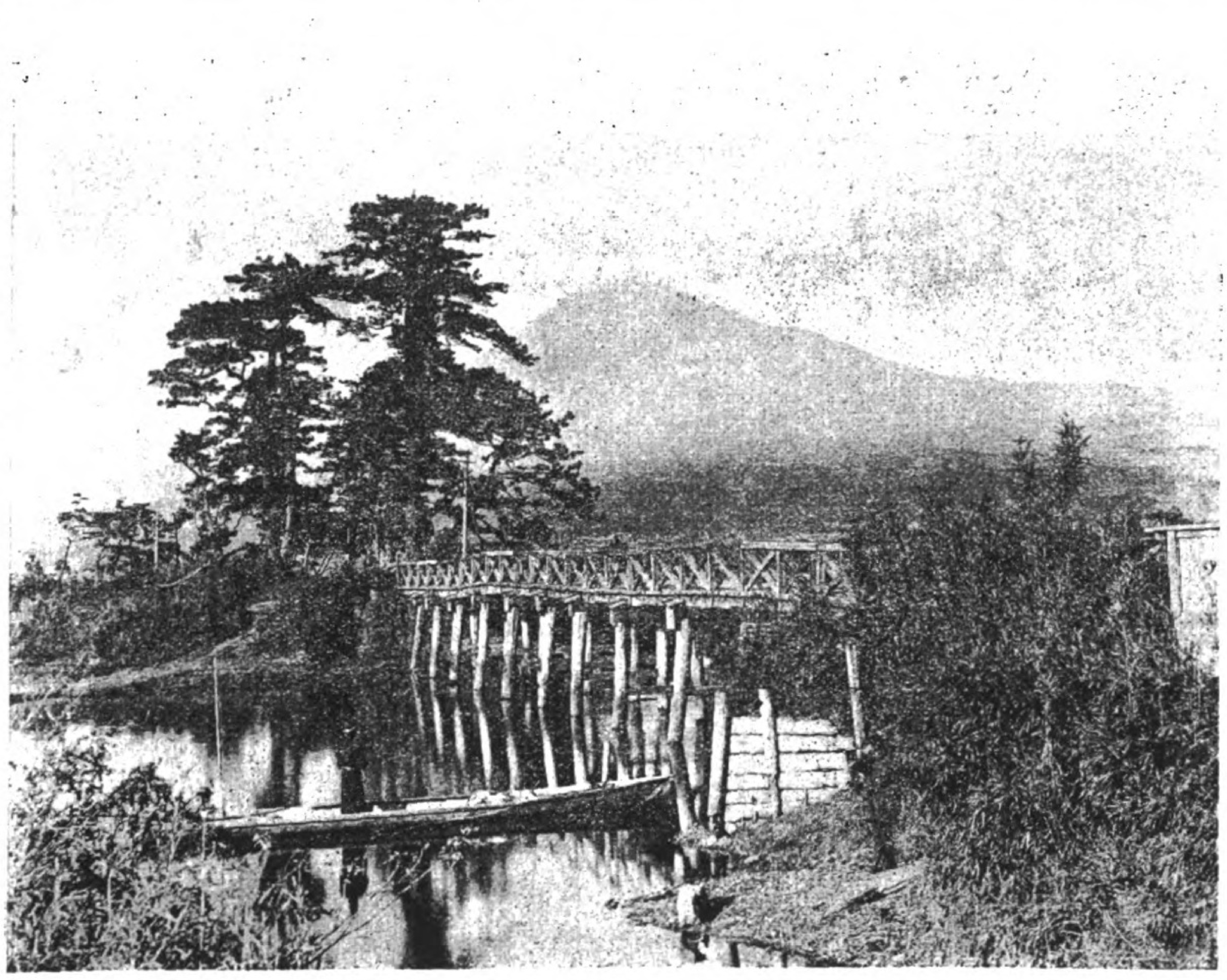
三輪田眞佐子

暑中休暇といふことに就ては、解釋の如何によつて、種々の意義を有たしめる事が出來るのでありますが、併し、元來一年の間で、暑中人間が休むのは何の爲めかと申すと、我國は中帶國には屬して居るも、夏季は大變に暑い。その暑いのを強て冒すのは、精神上並に衛生上得策ではありますまい。故に酷暑の間仕事を休んで、一には精神に、又一には身體に休養を與へ、冷しき秋風の吹き初むると共に、再び活動致したら可いであらうと云ふので、暑中休暇を致します。一言にして盡せば、夏の暑い間休むと云ふのが、暑中休暇の本來の目的であります。けれども、世の農商工などの業務に從事する人を見ますると、夏だからとて休暇もせず、夏は夏だけに活動て孜々として勉強して居る。官公吏や會社商店員等は、夏季中若干の時日を割いて僅かに休養する。然るに、學生のみ特に永い日數の間休暇を爲るのは、他のものとの權衡上、そこに何等かの意義がなくてはなりませぬ。それは、一ケ年の間に學生が授けらるべき科目の分量は、定まつたものがありまして、夫れ丈に進めば、それ以上に進まなくとも可しく、夏期の休暇以前には、既に豫定の進行を致して居る筈でありますから、こゝでひとまづ休暇を致して、秋冷と共に更らに進行すればそれで十分であるからであります。兎に角學校の暑中休暇は事實でありますが、併し此の休暇中を只何事も爲さずに消費し、無意義に生活しては、精神の修養上にも衛生上にも不可でありますから、之を如何にせば最も有効に經過す事が出來るかゞ實際の問題であります。

それで、暑中休暇中には、例ば精神修養の書籍に親しむとか、學科の實地練習を爲すとか、親族一門の訪問をするとか或は又旅行をするとかの如き、何等かの目的を立てゝ、各自其の目的の下に經過することが必要でありまして、斯くすれば暑中休暇を有効に、又最も愉快に經過することが出來ませう。之に反して、只々無爲に月日を送るとか、晝寢をするとか、美衣を着るとか、美食を味ふとか致して此の期間を過すやうでは、單に休暇が無意義となる許りでなく、且つ甚だ有害となります。けれども、此の期間に普通より一層重き仕事、一層重き勉強をするやうでは、暑中休暇は寧ろ無い方が宜しいので、之を取りちがへては復休みの意義が無くなります。只休暇は休暇として、而して精神と身體とを健全に休養し、有效に經過す事を忘れてはなりませぬ。それで暑中休暇の事は足るのであります。然るに、世間では往々此の暑中休暇中に、やゝともすれば懶惰の性質を養ふ虞のある人があります。前にも述べたやうに、此の間を只空々寂々として不規律の生活をして消費すると云ふやうな事は、精神上並に衛生上非常に有害なることでありますから、必らず規律ある生活を爲して、此の弊に陷らぬやう注意せねばなりませぬ。同時に又、奢侈生活に陷らぬやう注意する事が肝要であります。衣服にも食物にも、無暗に贅を執らず、衛生を第一義とし、特に海水浴に赴いた人々の如きは、已に海水に入ると云ふ事が目的でありますから、之を自己の任務と心得、忠實に此の任を果すことが肝要であるのに、名は海水浴であつて、其の實は奢侈的生活を送ると云ふやうな人も、往々見えるやうであります。

兎に角、何等かの目的を立て、其の目的の下に活動のは、心身健全の一方法で、人間は何事によらず、必らず何等かの目的を確立して、之を趨行することに努めることが至極肝要でありますが、唯此の目的が餘りに遠大に過ぎ、重大となると、暑中休暇の意義が無くなりますので、其の點に注意する處がなくてはなりませぬ。

暑中休暇には心身を休養する。そして秋冷と共に新なる勇氣を揮ひ起して一層各自の仕事に精勵する。暑中休暇の意義はこれだけで結構で、且つ之が最も中庸を得たる解釋であると信じます



鈴川橋上の富士

本號主要目次

▼暑中休暇の意義……三輪田眞佐子
▼精神講話 餘情(上)……前田文學博士
▼箏曲 感ずることの一二……高木錄子
▼評釋 松の下風(廿八)……池邊義象
▼白羽二重洗濯法(三)……高山 繁
▼茶ばなし……
▼其他懸賞家政育兒の實驗談、懸賞和歌俳句等
▼外に附錄愛國婦人會々報二頁
▼挿畫……岡 落葉

●本紙(附錄共)十八ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

精神修養 餘情 (上)

（愛國婦人會樓上に於て）

文學博士　前田慧雲

今日お招ぎに與つて罷出ましたが、私は演說とか談話といふやうなことは極く下手な方でありますから此席に於てもお退屈であらうと思ふのでありますが、ほんの茶話同樣のお話を致すのでありますから、其お積りでお聽きを願ひます。

近來の者は男子に限らず女子に限らず槪して申すといふと、何事も何處迄も仕切つて仕舞はぬことには承知がならないといふやうな極く差迫つた考へを有つて居る人が餘程多いではあるまいかと思はれるのであります。早く申すと何事もモウ十分といふ處迄やり切つて仕舞はねば堪納が出來ないといふ風があるやうに見受けられる。それで物には餘情餘韻といふことがなくてはならないといふことを少しお話を致して見たいと思ひます。餘情餘韻と申すことは皆樣御承知でありまして、餘情餘韻に限つたことはない、餘韻といふことも餘生といふことも餘地といふことも餘の字の付く言葉は澤山ありますが、あの餘の字の付く事柄がなくてはならないものであらうと思ふ。音樂を聽きましても聲が止んで仕舞つたらそれぎりといふことでは味のないもので、聲が止んで仕舞つても其處に聲がある如く感ぜられるのでないと音樂の妙といふものはないのであるといふことを承つて居る。歌でも詩でも總て餘情とか餘韻とかいふことを尊ぶので、いふたゞけで意味が盡きて仕舞つては何んの面白味もない。言葉は盡きて仕舞つてもそこに盡きぬ處の味ひのあるといふ處で詩でも歌でも妙があるのであります。總てのことがさういふやうな譯で、何か餘つた處がないといふと面白味のないものである。之は歌や詩に限つたことではない吾々の平生話をする。其話のし具合でも又平日自身の行ひの上に於きましても餘りあるといふ事柄がなくてはならぬものであらうと思ふ。

話の上に於きましても矢張り餘情といふものがなければならない。話して仕舞つた後で何か其處に味あうて見て面白味のあるといふやうな話でないと話に面白味がない。爲す事柄の上でも、して仕舞つたゞけのことでは一向面白くないのでありますが、して仕舞ふた處にまだ何か其處に面白味がある、何時考へて見ても其行爲が十分に人の心の中に味ひを懷かせるといふ風でないといけないものと思ふ。いけないのみならず、それでないといふと或る場合には非常に自身が困らなければならぬことも出て來るのである。例ば子供を叱るといふ上に於きまして、何處迄も向ふの謝まる迄叱り付けにや置かぬといふ風に叱り方をしますと、結局は都合に依ると大變困ることになる。と申すのは叱つた處で子供が結局謝まるといふ處迄行けば宜いが、極く强情な子供になりますと謝まらない。さういふ場合になると何んとも處置の付けやうがないことになる。他人を頼んで來なければ其場が納らぬといふことがあるやうなものである。で子供を叱るのにも此處迄十分に叱り過ぎるといふことのないやうに、少し其處に餘地を止めて置くといふことにせぬと、今申すやうな都合の惡いことが出て來るのであります。それと同じく下女を使ふ上に於きましても下男を使ふ上に於きましても向ふの失策を何處迄も拾ひ上げて攻め付けるといふやうなことになると、それで向ふが折れれば宜いが折れぬ時になると實に持て餘して何んとも處置のしやうもないやうなことになるのであります。それで人を叱るには向ふがア、惡いと氣の付く處迄で、それ以上は棄てゝ置くことにして置けば却つて効能があるのである。それを何處迄もやり付けて仕舞ふと、所謂餘情餘韻といふやうなことがないのでありますから、自分が困らねばならぬといふ樣な事に遭遇ふのであります。何事に依らず餘るといふことの意味合を能く味ふて總てのことに餘る處がないと宜くないことであらうと思ふのであります。昔の人の言葉の中にも事をする上に於て自分の胸に堪納の出來る實に心持が宜いといふ處迄はやるものではないといふやうなことをいふて置かれた人がある。實際經驗して見る

不忍池の蓮

と眞に其通りのやうに思はれる。善い方の側でも自分が堪能する處迄やると後で必ず其反對が來るものである。惡い方の側でもモウ自身の胸が晴々といふ處迄やり切るといふと必ず後で後悔をしなければならぬ。あんなことはいはぬで置けば宜かつたといふやうなことになつて來るのである。此快意のことゝいふのは極く愼まねばならぬといふことを昔の人は申して居りますが、其通りであらうと思ひます。

言葉は違ひますが、それと同じ意味で總てのことに盡すといふことが惡いのであるから、總てのことの上に盡さゝる處がなければならぬといふ言葉もあります其不盡といふのは前に申した餘りあるといふ意味と變らぬ。近頃は儉約などゝいふことを能く申すのでありますが、儉約といふても今日の儉約の仕方といふことは不盡といふことを能く心得て行きさへすればそれが取りも直さず儉約であらうと思ふ。さう粗末なものを食べなければならぬといふことではありませぬ。又粗末のものを着なければならないと云樣な儉約は出來るのでない。身分に依て相應の結構なものをお召しなさらなければならぬお方もあらうし、結構なものを召上がらなければならぬお方もありませうし、それを何處々々迄もやり切らぬと云ふ所謂不盡といふ處を存じて置くのが取りも直さず儉約である。七寶の茶碗と象牙の箸で御飯を食べなければならないと致した處が、それは時と場合に依れば地位のあるお方であつて見ればさういふことも惡いのではないのでありますからして、七寶處ではない玉の茶碗で召上つても宜し、或は金の箸で召上つても宜いのであります。けれども、自身が毎朝食べる茶碗迄も玉にするといふことになるとそれは即ち贅澤といふことであらうと思ふ。さういふ處を可なりのものにして濟ませて置くといふのが所謂不盡な處であります。一方には十分なことをして居つても一方には十分なことをしないといふ處を一つ殘して置くといふのが之が今日のマア儉約といふことの意味であらうと私は思ふ。

私の伯父の家に私が參つて居る時でありましたが、臺所の障子が餘り煤けて黒くなつたからみつともないといふのでスツカリ剝して張替へて仕舞つた、其時に伯父の又伯父が其話を聞いて申すには、それは惜しいことをした、一軒の家の内にはさういふ處があつてこそ宜いのである。皆張替へて仕舞ふのは心ない話だ、惜しいことをしたといはれたが、其處をいふのです、お客間であるとか表通りならば煤りのないやうに立派な紙で張替へて置かなければならぬ場合もありますが臺所の隅に至つてはそれ迄も新しい紙で立派に張替へるといふ必要はないのである。さういふ處は煤つた處を殘して置いても何も差支のないものである。一軒の家にはさういふ處があるのが誠に面白い處であるからして、何處から何處迄も新しいものにし直して仕舞ふといふのは大變間違つたことであるといふ意味であります。此處が餘程私は面白い處であらうと思ふ。何んに依らず餘り隅から隅迄自分の思ふ通りにやつて仕舞はなければならないといふことで、何處から何處迄も思ふ通りにやり切つて仕舞ふことは愼まねばならぬことであつて、さうやつては人の面白味といふ處が薩張りなくなつて仕舞ふものではあるまいかと思ふ。之は一軒の家ばかりのことではありませぬ、社會の上にしてもさうであらうと思ふ。近頃此事に就て感じたことがありますから、實は斯ういふお話を致し掛けた次第でありますが、近頃救世軍などと申すものが何か要らぬものがあつたら惠んで貰ひたい、自分の方で仕譯をして貧民に惠むのであるからして何んでも宜いから惠んで貰ひたいといふこと （第三頁ニツヾク）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を戸々別々に頼んで歩くやうであります。私の方へも時々參ります。どんな物をやれば宜いかといふと、イヤどんな物でも宜しい足袋の古物でも古新聞でも或は傘の破れたのでも差支ありませぬ。如何なる物でも要らぬ物があつたら皆お貰ひ申したい、斯ういふて廻る。そこで初めの中は私の方でも要らぬ物があつたらやらう、救世軍のみならず慈善新報とかいふ新聞にも出して居りますが、其方からも要らぬ物があつたら呉れいといつて貰ひに來る。それへも初めの間は捜し廻つて要らぬ物をスッカリ浚へてやつたのであります。ところが此間私は考へますのに、之では迚もいけない、救世軍の方や慈善新報の貰ひに來る方の側はそれで宜からう、あるだけの物を皆貰ふて行くといふことになれば其方の側はそれで便利で宜いかも知れぬが、どの家もどの家も要らぬものはスッカリ其方に吸取られて仕舞ふことになると、先づ第一に下女下男或は出入の者にやる物がなくなつて仕舞ふ。若し浴衣の古いのがあれば下女にやり或は足袋の古いのは下男にやるとかいふやうなことで、下女下男は給料などの餘裕といふものが幾らか其處に出來るのである。然る處そんな物をスッカリ慈善の側に取られて仕舞ふと、モウ下女下男にやる物がなくなつて仕舞ふ。下女下男のみならず世間には貧民といはずして實際貧民より以上に困難をして居るものがある　さういふ者は出入をする主人の家からして綿入の古着であるとか或は襦袢の古い物とかを時々貰ふので非常に便利をして居るのである。それを皆救世軍であるとか其他の慈善會の力に吸取られて仕舞ふとさういふ者に恵む物がなくなつて仕舞ふ。それ等が餘分の恵みを受けるといふことがないことになつて仕舞ふ。それから紙屑買といふものであります。家に色々の物がありますと要らぬ物ならば紙屑買に賣つてやる。縱令値段はどんなに安からうが要らぬから持つて行けといつてやつて仕舞ふ。そこで紙屑買は利益をするのである。然るに傘の古物迄慈善會や救世軍の方に取られて仕舞ふと紙屑買は眞の所謂紙屑ほか買へないといふことになる。それでは彼等が立ち行かないことになる。そこで或る一方へやつて仕舞ふといふことはいけないことである。少しは殘して置いて下女なり出入の者にやる。或は向ひの者や隣の貧窮の者に恵んでやるといふ餘地を存して置かなければいけないであらうと私は氣が付いた。之は皆さんに御相談を致して置きたいことであると思ふ。今日危險な思想を有つた一番恐ろしい社會は何處にあるかといふと中等の下等にあるのだ私は思ふ。一番貧窮な社會の一番最下級の者であると惡い心を起した處が酷い惡いことは能くしない。一人の人間を殺すといふ位の處が精々である。それ等が黨を組んで大仕掛なことをやつて極く巧みの惡事を爲すといふやうなことは極くの下層社會には出來る譯のものではない。社會で恐ろしい巧みをして大きな惡いことをする者は表に貧乏人といはずして内實が極く貧窮で困るといふ者が大にやり出すのであります。さういふ者に餘り困窮をさせないやうに心懸けて行くといふのは社會を治めて行く上に於て極く必要のことであらうと私は考へるのである。其方から考へて見ましても表向き他人に恵みを受けずして居つて受けたうてしやうがないといふ者が世間には澤山あるのでありますから、古手の物を除けて置いてさういふ者に恵んでやつて戴いたならばさういふ階級の者が大變に仕合せを得ることであらうと考へたのであります。此事を一つ皆さんに御相談をしたいと思ふて斯ういふお話を致し掛けた次第であります。

兎に角何事に依らず十分に仕切つて仕舞ふといふことは面白味のないものである。其處に少しの餘裕を殘して、世間でも物を八分目にせよといふことがあるが其處に面白味があるのであります。男子の上でもさうでありますが、格別御婦人方には其趣きがないと眞の優美といふ處が缺けはしまいかと考へる次第であります。と申して總ての事に餘りあるやうにして行くといふのは、一つは心に眞實のゆとりがないと其處が却々行き惡いものである、心の中に十分に餘地があるとそれが自然行ひの上に現はれ、言葉の上にも現はれて、一つ言葉を使ふ時にもゆとりが付き、一つ事をする上にもゆとりが付いて來る譯でありますから、殆ど押詰めた處を申すと、お互が精神の上に餘地が出來て來るであらうと思ふ。所謂精神修養とか申して非常に世間で今日やかましく申して居りますが、此精神修養の結果心の中にゆとりがあるといふことになつて來ぬことには話の上や行ひの上に餘地があるといふことは出來惡いのであつて行はれぬ。随て何處迄もやり切つて仕舞ふことになり易いのであります。で此精神の上に餘地を造るといふことが一番必要なことであらうと思ふ。それではどうすれば精神上に餘地を造る事が出來るかと申すと之は近頃申す教育さへ進んで來れば自からそれが精神の上にも立派な處が出來て來る、所謂餘地が出來るといふのでありますけれども、併し此教育と申すものも唯だ通例一般の生なかの教育ではナカ〳〵其處迄は行くものでない。物事を能く教へ、即ち珠算を能くするとか、字を能く書くとか、或は本に書いてある文字を能く讀むといふやうな位の教育では迚も精神の上に餘裕が出來るといふ處にはナカ〳〵行かない譯であるそれは精神に感ずる處の高尚なる學問をしてそれから心を練上げる處に行かぬことには教育の上から精神上に大變ゆとりが出來て立派な者になるといふことは餘程むづかしいのである。

然らば此教育を除けては何であるかといふと此處は矢張り宗教であらうと思ふ私が宗教に關係致して居りますから其處へ引つ張り込むといふ譯ではありませぬけれども、私共が考へて見まするとどうしても心に餘地の出來るのは宗教の信仰がないことには出來惡いものであらうと思ふ。なぜ宗教の信仰があると心の中に餘裕が出來るかと申すと、私は佛教の方の側を信仰致して居る者でありますから、私が信仰して居る上でお話を致すのでありますが、佛教の信仰などを致すと自身は將來佛の境界に到達するのであるといふことになる。自身が佛の境界に到達するものであるといふことになつた以上は、早く申すと平生から精神上に佛の光を見るのである。所謂佛と交通が出來るといふ譯で、自身の目的にするものは何んであるかといふと人間を目的にするのではない、佛を目的にするのである。佛様が御覧になつて居ることであるからとして何事をするにも總て佛を目的にしてすることになる。さうなると人間世界のことは自身が下を向いて見ることになる。さうして自身よりズット上のものになる。自身より以上のものになると其處に餘裕が出來て來る。それが爲めに低くなるといふことはない。自身と同じものになつて自身が其中に這入り込んで仕舞ふて居つたならそれに絡られて信仰も餘地も出來たものではない。どうやら斯うやら其處を脱けて出れば宜いといふことになりますけれども、此人間一生のことを下を向いて見ることになると心の中にゆとりが山出來て來るのであります。所謂餘地が出來る譯であります。富士山の上へお登りになつたお方があるかも知れませぬが、富士山の上へ登つて見まするとモウ日本といふものは誠に小さいものに見える。あんな處で汲々して居つたり、或は喧嘩して居つたりするのは詰らぬことであるといふ感じが起るのである。さういふ料見になると人間のことは誠に小さい。さう見えるものであるから大變心が樂になる。丁度それと同じく自身は今度佛になるのであるといふことに信仰が据はつて居る、其心から五十年の此生涯を見る時には生涯は誠に小さいものである。人間一生誠に小さく見えるのでありますから小さいものとなつたら既に其處に心に餘裕が出來る。自身が自由にそれを使ふことが出來るといふ餘裕が起つて來るのである。斯やうな譯でありますから、宗教の信仰が出來ることになれば自然と心に餘裕が出來て來ることになるのであります。總て心の中に餘裕といふものが出來れば親に仕へるといふことに於きましても、國家のことを心配する上に於きましても、何事をするに就きましても餘り無理をしないように出來ることになつて來る。それで孝道をするとか忠義を盡すとかいふことも容易に出來るやうになつて來る。さう口でいふように巧い理窟には參りませぬけれども、先づさういふやうな譯で自身が努めずして自然に出來て來るといふやうな按排になつて來るものであります。

（つゞく）

注意!!

暑中の御慰み。懸賞。子供。の歳。當て。寫眞。廣告。欄。本號に發表

詳細は第四頁にて御承知あれ

注意!!

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

感ずる事の一二

高木鎌子

▲財産か人物か

現代の若い婦人達が虚榮に憬がれてこまる、と云ふ非難は、毎々新聞紙や雜誌上などで承る事で御座いますが、なる程左樣いふやうなこともあらうかと存じますのは、例へば結婚の事に就きましても、御兩親が第一に婿となるべき方の人格に注意なさつて、財産には多少不滿足の點はあつても、大學卒業ではあるし、才能もあり將來の見込もあるから、あの方ならばと、息女に御話しになると、案外にもあの方は貧乏であるから不可ませぬ、才能は多少劣つても、今少し財産がある家に縁付たいと望まれる。或は又、御兩親共に相當の地位があり、財産も學識もおありの方であるから、財産の多いばかりに着眼て息女を縁付なさるやうな事はあるまいと存じますと、之も亦意外に驚かされた事が御座います。

地位も財産も或る程度までは家相應に必要でありまして、之も見落すことの出來ぬ條件ではありませうが、唯先方の資産にのみ執着して、第一緊要の條件たる先方の人に重きを置かず、若い娘や敎育のある親が斯うでありますのは、只々目前の快樂、當座の安逸を樂まうとする虚榮心に原因するのであらう、と誠に歎かはしく存じます。

人物を選ぶと云ふ事は、却々困難な事で、最初有望な人と思つても、案外にさうでなかつたり、着實と思つた人が浮薄であつたりする事が往々ありますから、財産に重きを置きますのが確實のやうにも存せられますが、國の發展上から申しましても、人物が金よりより多く肝要ではありますまいか。

なにしろ現代の娘達は、縁付くことを大變に輕く見て、そして花や月でも見に行くやうな心持ちで、先方に縁付いたらば、早々から氣隨氣儘に樂しく遊び暮したいと云ふやうな考へを有つて居られるやうでありますが、須磨明石の月、嵐山の花と遊び廻るのは、青春の人達には愉快なことでありませう、けれども、愉快も狎るれば愉快で無く、其の上他所目に見えぬ不安の念も、知らぬ間に伴つて參るものであります。財産はさまで裕で無くとも、相應に心配苦勞はあつても、夫の人物が良く、後來家運が發達すべき見込のある家に嫁つた婦人は、他所目には多少いたはしい節が見えても、本人の心の中には光明が輝いて居て、さぞ快いことであらうと存じます。

▲寒心すべき婦人の外出

私達の育ちます頃には、若い婦人は必らず一人では外出せぬと云ふ習慣がありまして、黄昏後は勿論のこと、晝間でも單獨では外出致すことがありませんでしたので、現今も尚此の習慣が身心に染み込んで、黄昏になりますと、單獨で門から外に出ますのはなんだか恐ろしいやうな心地が致しますので、子供達から「母さんは臆病ですねえ」と度々笑はれます。現代の若い婦人達の中には、夜分遲く一人で外出する方があると見えまして、先頃も夜の十一時頃、袴を着けた女學生らしき婦人が單獨で電車に乘つて居るのを見受た事がありますが實に偉いと思つて感服致しました。併し、之は感服致すより寧ち寒心致すべきことで、西洋でも黄昏後單獨で歩いて居る婦人は必らずよくない婦人であり、又左樣見られても致し方が無い、普通の婦人は日が暮れて後は、隨伴者なしには、決して外出せぬ、と云ふことであります、我國の婦人も、臆病であれとは勿論申しませんが、夜分外出する所には必らず隨伴者なしに單獨では致さず、親達もその注意が肝要であらうと存じます。（談）

夕立の雨ふることに春日野の
尾花か上の白露おもほゆ
（讀人不知）

●嚴貴妃薨去

朝鮮李太王妃にして李王世子殿下の母君たる嚴貴妃には去月十日頃より風邪の氣味にて病床にあらせられたるも、一切の藥を斥け例の加持祈禱を盛んに行はれたる樣子なりしが、遂に御重體に陷られ二十日午前三時十分遂に薨去せられたり。

李王世子殿下には當日を以て甲信越地方御旅行の途に着かせらるる筈なりしもそれが爲め急に御旅行中止となりたるが我が聖上皇后兩陛下には嚴貴妃の薨去に付き李王世子殿下の御哀悼も嘸や深かるべしと御軫念あらせられ、當日直に破格にも勅使を世子邸へ差遣はされ懇篤なる御慰問あり、殿下には、兩陛下の深厚なる御慈愛に感謝されたり、又兩陛下には李王同妃殿下に向け優渥なる弔電を送らせ給ひ且つ聖上陛下には宮相を御前に召させ、王世子殿下を往復三週間の豫定にて早々歸省せしめよとの難有き御諚を賜ひたれば、宮相は仰を畏みて直に聖旨を傳へしに、殿下には陛下の御實父母にも増さる御慈愛を賜はりたるに感激し、二十一日午後三時四十分新橋發列車にて御歸省の途に着かせられたり。

因に聖上皇后兩陛下より二十二日渡邊宮内大臣を御前に召させられ、特別の思召を以て祭粢料金三千圓御下賜の御沙汰あり、宮相は寺内總督を經て李太王李王兩殿下に言上の手續を爲せりと、又李王世子殿下には二十二日午後八時二十五分下の關御着、軍艦春日に搭乘し、翌二十三日午前八時釜山御着、御上陸後臨時列車に召され同日午後六時四十九分京城南大門驛に御歸着あり、直に李王邸に入らせられ李太王殿下に久々の御對顏あり、亞で殯宮に於て嚴貴妃の遺骸を拜せられたる由なるが、御歳十一にして御兩親の許を辭して、東京に來られ、今や御生母の薨去により五年振りに京城へ歸省せられたる李王世子殿下の御胸中悼ましとも悼まし。

懸賞　暑中の御樂み！　懸賞

▲懸賞寫眞發展

前々號から豫告致しました通り懸賞子供の歳當て寫眞本號廣告欄内に發展致しました。1から6迄番號つきで掲げてあります、其子供の一番は何歳、二番は幾歳、三四五六と諸姉の御考へを葉書に御記しの上、愛國婦人發行所懸賞係へ御投じを願ひます。

▲どんな人が選に當るか！▼

子供の年齢の六つが悉く當りませんでも四つでも五つでも一番數多く當つたお方から一等二等三等を選びます、若し同じ數だけお當りの方が多數な場合は、寫眞中の一人の子供を選んで公平な抽籤を行ひます。

▲賞品は何か！▼

一等	二人	羽二重上等布一枚づゝ
二等	五人	繪葉書アツタ一個づゝ
三等	十三人	女持上等扇子一本づゝ

▲〆切は八月二十日

〆切期日は嚴正に守ります、必らず期日に遲れぬやう、ドシ〲御投書を乞ふ

●暑中の御樂み懸賞歳當の催しに贊せられ左記の通り寄贈品を受けました、當選の方々に當所の賞品と共に御分配致します。

一、泰西名家の書翰　價格五拾錢
一、明治百傑傳　同五拾錢
一、飛行器物語　同參拾八錢
一、夢二畫集　同五拾錢
東京麹町二丁目二番地　洛陽堂

一、橋本赤十字病院長處方　救世丸　十個（一個參拾錢）
一、岩佐男爵處方　壯婦丸　十個（一個三拾錢）
東京深川公園　合資會社　福井堂

一、新婦人九月號　二十部（一部貳拾錢）
東京本郷區龍岡町　聚精堂

一、バラ齒磨　鏡付美麗ナル容器入　二ダース
東京神田區久衛門町　東光園

●愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金　をお送りになる時は、振替貯金が一番安全で、紛失や未着の恐れもなく其の上郵便賃もいりませんから、御便利でございます。

御振替で御送金になる時は、拂込口座に記料として

▲振替で御送金　の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ます。

▲郵便切手　で御注文又は御送金の節は必らず一割増にして願上ます。

▲愛國婦人發行所　の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一、三八一番でございます。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認め願ます。

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箏曲評釋

松の下風

（二十八）

京都大學講師　池邊義象

◉若葉

（一）ゆかりよしある初くさの、わか葉の上を見つるより、いとゝかわかぬそでの露、猶うきまさるたびねかな。

これは源氏若葉の卷によりたり。源氏君北山にて紫の上を見て、

初くさのわか葉の上をみつるより旅ねの宿も露ぞ乾かぬ

といふ歌あり。所縁ある初草、即ち紫の上を見そめてより、物おもひまさりて、旅ねの袖も涙がちなるをいふ。

（二）うつゝなやひとりね、夜半のまくらに吹まよふ、みやまおろしに夢さめて、涙もよほす瀧のおと。

これも同卷に、

ふきまよふみやまおろしに夢さめてなみだ催すたきの音かな

といふ歌あり。うつゝなやは現し心なくおもひ亂るゝことなり。みやまおろしは深山よりふきおろす嵐なり。北山の寺の夜半のさひしきさまなり。

（三）いさゝらば宮人よ、ゆきてかたらむさくらばな、このまのけしきことなるを、風よりさきに見せばや。

これも同卷なり。北山を出てらるゝ時花のさけるを見て、

宮人にゆきてかたらむ山さくら風より先に來ても見るべく

といふ歌によれり。樹間のけしきことなるを、はやく都なる宮人にゆきてかたらむ、風のふかねさきにこのさくらを見るべきためにといへるなり。

（四）かくれがふかき奥山の、松のとぼそをまれにあけて、また見ぬ花のかほばせを、見るよりぬるゝころもで。

これも前よりのつゞきなり。北山僧都の、

奥山の松の扉を稀にあけてまた見ぬ花のかほを見るかな

とて、源氏の來れるをよろこびいへるに本つけり。

（五）たそかれすぐるをりから、ほのかに見えし花の色、まよふ心はあさかすみ、立わつらふそものうき。

これも前のつゞきにて、源氏君の紫の上を見て北山を立かねらるゝさまをいへり。即ちその時のうたに、

夕まぐれほのかに花の色を見てけさはかすみの立そわつらふ

とあるによれり。霞の立と出立とにかけたり。わつらふは、立難きさまをいふ。花の色は、紫の上をさすこともとよりのことなり。

（六）いつしかに汲みそめて、くやしときゝし山の井の、淺きながらもさりとては、たえぬ契をたのまむ。

これも同じ續にて、源氏君より尼君のもとに御文ありて、

あさか山あさくも人をおもはぬになど山の井のかけはなるらむ

とありしに、尼公のかへし、

くみそめてくやしときゝし山の井のあさきなからにかけを見すへき

とあるによれり。この問答は、源氏君は強て紫上をとひたまひ、尼公は紫上のいまに幼ければとて、ことわりたまふことなれとも、遂には紫上を源氏の引取られしにより、たえぬ契を頼まむといへるなるべし。山の井は淺きものゆゑに、あさき心の序とし　その縁にて、汲みそめてといへり。

この一組は、源氏の君北山にて紫の上を見そめられ、ふかく戀せられたるものかたりを、若紫の卷のことばかりによりてつくりなせり。紫の上は壺の御めいなれば源氏はそのゆかりより、ふかく戀せらるゝなり。事のさまはその卷をよみてしるべし。

＊　＊　＊

◉絹布の洗濯法

高山繁

▲白羽二重の洗濯（三）

（二）稀硫酸の液中に通じて再び水洗する事。

既に過酸化曹達の液を用ゐて洗ひ、而して水洗し終つたらば、更らに稀硫酸の液中に移し、十分間乃至十五分間浸漬したる後引き上げ、直に又清水の中に入れて濯ぎます。

（注意）茲に述べたる稀硫酸の液はどの位の濃さにてよろしきか、之を心得置くことが肝要であります。此處にても矢張り工業用硫酸を水に溶かして稀硫酸を造りますが、濃硫酸は至つて危險なるものでありますから、其の取扱ひ方には餘程注意を致さねばなりませぬ。先づ水二升位を瀬戸引金盥に取り、工業用硫酸（六十六度以の）凡そ三匁許を別に取り、瀬戸引盥の中の水を掻廻しながら、此の硫酸を注ぎ、よく攪拌し、全部一樣の濃さと致します。ところで、今度は稀硫酸の濃さでありますが、本文の洗濯用として最も適度のものは、嘗めて見て普通の食醋よりも稍酸味の弱い位のものです。此の程度を誤り酸を強くすれば、大に地質を[illegible]めます。

右の如き適度の稀硫酸内に、十分乃至十五分間浸漬したる後は、直に引き上げ、之を清水中に投じて能く洗ひ、全く硫酸の氣なきまでに濯ぎます。

（三）更にベレンス青に浸して復水洗する事。

既に稀硫酸の液に通じて水洗十分なる以上は、ベレンス青を溶かしたる稀薄い液に浸して、僅に青味を附ける順序となります。人々の好みによりますが、ベレンス青は成るべく薄いのがよいのです。青味を強くしやうとする場合にも、一度に強くせずに、幾度も浸し、漸次強くせねば、青味が一樣にならぬ事があります。又稀硫酸に通したる後の水洗ひが十分でなくて、酸の殘れる部分がある時には、ベレンスが其の部分だけ濃く附いて、青味が強くなりますから、ベレンスに入れる前に十分水洗する事が肝要であります。青味附けを終つたらば、清水中に投じ、水洗ひし、次の處理に進まねばなりませぬ。

（四）稀醋酸液に浸し直に引き上げ日陰干にして乾かす事。

既にベレンス液にて青味を附け、清水に投じて水洗ひしたる上は、直に之を稀醋酸の液に投じ、暫時にして早く上げ、洗體を汚さぬ樣に注意して日陰干にします。即ち小切れならば、清淨糸にて吊すやうにし、反物ならば棹を潔くして乾かします。

こゝに用ふる稀醋酸は水一斗に對して氷醋酸の三匁乃至四匁を溶かしたる程度で可しいのです。（つゞく）

●都下の大颶風と海嘯

土用の入り前後より天候兎角不順勝ちなりしが去る二十六日午前二時頃より大颶風は海嘯を伴ひて帝都を襲ひ遂に家を倒し人を殺すの慘狀を惹起さしめたり。中にも被害の最も酸鼻を極めしは洲崎遊廓にして折柄滿潮の波は東南の暴風に煽られて山なす海嘯となり猛然堅固なる防波堤を破壞して倏忽遊廓内に浸入し遊廓全部を泥の海と化し特に妓樓工場等の數戸を倒潰せしめ五十餘名の壓死者を出さしめたり。其の他月島海岸及び品川大森方面も亦海嘯の襲ふ處となり月島方面にては家屋の浸水倒潰倉庫の被害等の外別に人畜には死傷なきやうなるも品川方面にては獵船の被害家屋の流失等夥しく行衞不明となりたるものも數名あり、此の外市内各區に渉りても被害多く日本橋區のみにても床上浸水家屋二千戸あり、電信電話線の切斷、板塀等の破壞、樹木の折倒等實に慘澹たるものあり、其の慘狀の最も烈しきは例により本所深川淺草等の方面なり、特に市内電車の發電所に被害を生じ爲に一部の電車は全く運轉中止となり市民に多大の迷惑を感ぜしめたり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雲井の御影

▼七月一日(土) 故岩倉贈太政大臣 外四卿に勅選碑を賜ふ趣にて股野博物館長外二名に對し撰文被仰付◎東宮殿下春宮殿下御訪問◎東宮妃殿下寺内伯御床揃を遊ばさる

▼同 一日(日) 三妃殿下葉山に母宮殿下を御訪問遊ばさる

▼同 三日(月) 東宮殿下葉山行啓久々にて 妃殿下へ御面會遊ばさる◎閑院宮殿下御職務を以て富士裾野御成

▼同 四日(火) 竹田宮 妃殿下葉山に 東宮妃殿下を御訪問遊ばさる

▼同 五日(水) 舊名古屋藩主 侯爵徳川義親氏 以下三十名に對し天杯を賜ふ◎久邇宮殿下御職務を以て滋賀縣下御出張◎宮中月次御歌會、御兼題「草庵雨」御題「夏野若松」

▼同 六日(木) 閑院宮殿下竟朝香宮殿下宮内大臣官邸に於て木村理學博士新發見の「木村項」に關する學說講話を聽召さる◎島津若宮殿下上野公園建築展覽會御成

▼同 八日(土) 東宮殿下竹田宮御訪問◎三皇孫殿下振天府御成◎在英東伏見宮同妃兩殿下ロンドン御出發御歸程に着かせらる

▼同 九日(日) 閑院宮同妃兩殿下若宮御同伴小田原別邸へ御成

▼同 十日(月) 特命檢閲使伏見大將宮殿下御歸京◎閑院宮殿下小田原より御歸京

▲同十一日(火) 聖上陛下帝國大學行幸卒業式御臨御◎東宮殿下朝香宮御訪問

▼同十二日(水) 竹田宮殿下京都大學卒業式御臨場の爲め御西下

▼同十三日(木) 東宮妃殿下葉山より御還啓◎閑院宮殿下千葉縣下へ、朝香宮殿下富士裾野へ各御職務を以て御出張◎久邇宮妃宮三殿下京都へ御歸邸

▼同十四日(金) 迪宮、淳宮兩皇孫殿下伊香保御用邸へ御避暑◎竹田宮殿下京都より御歸京◎閑院宮殿下千葉より御歸京

▲東京人の飲む氷

東京市内で使ふ氷は隨分多いもので、一年間に總計一億四千八百五十萬斤、其の内三割が氷水となつて人の口にはひる。しかし氷には溶け減りといつて、氷水屋の實上げまでには三割を見込みますから、實際の實上高は三千百十八萬斤ばかりになるわけで、一斤の氷は平均氷水四杯になりますから、一億二千五百二十四萬杯の氷水ができるわけです。それを一杯二錢として二百五十餘萬圓、東京市の人口百六十萬人に割當てると、一人で一年に七十七杯あまりの氷水を飲んで、一圓五六十錢あまりの金を拂ふことになります。

千葉縣共進會出品 民風資料 (三)

千葉縣　月

▲孝子　まさ子(千葉郡)

更科村に生る資性溫良にして母は明治十三年の頃不幸病を得全身不隨の身となれり、まさ女は衷心憂苦措かず朝夕神佛に母の全快を祈禱し寢食を忘れ碎身看護に從ひ自身衣食の資を以て母の嗜好を充たし母の喜色を見て其日の憂色を掃ふを常とし或は小閑に新聞雜誌を讀み聞かせて慰安に供する等誠意を以て孝道を廢せざる二十有一年一日の如く郷黨感稱し官亦之を賞表す、まさ女の如きは實に孝女の龜鑑と云ふべし

▲孝婦　麻生利器(夷隅郡)

婦は中川村に生れ本町荘吉に嫁す、家赤貧、荘吉婦を母に侍せしめ出て東都に賃傭す、婦從順晨昏其力を孝養に竭す姑酒及煮餅を嗜む、乃ち自己勞銀を以て之を進む、夫の送金あれば親故に托し他日の急に備へ夫の勤苦を空しからざらしむ、姑疾むや衣帶を解かず夙夜看護し、其歿するや朝夕供養生前に異らず、後夫疾て歸るや又扶持に盡す、寛政十年夫歿し尋で婦亦逝く、子無し、領主其行狀に感じ命じて後を絶たず、且墓を建て名を後世に傳へしむ。

▲節婦　松本まき(東葛飾郡)

資性溫良夫に事へて柔順貞節、家貧にして傭耘を業とすと雖も團欒の和樂琴瑟を毀するが如し、三十六年不幸夫は病魔の冒す所となり藥石効無く終に歿す、貧苦益々迫り四面悲慘の中に纖弱の一女子能く身を提げて艱難缺乏と戰ひ二兒を養育し就學せしめ、曾て家事の故を以て缺席せしめたることなし、其行爲の奇篤なる眞に婦徳を全ふするものと謂ふべし郡教育會は金若干を贈與して之を旌表せり、大松村の人。

▲孝貞　たけ女(長生郡)

長柄村に生る、妙齢にして藤田家に嫁し續て夫に逝る、次て二女を喪ふ、七回厄難の間に家政を處理し名聲を墜さず、加之失明せる姑に事へ孝養怠る處なく日々の奉養は勿論夜間に於ける兩便の世話に至るまで曾て他人に委したることなく寢ぬるに帶を解かず外は公邊親族に應對し内は家計處理婢僕の使役子女の訓育に至るまで一身之に當り至らざるなき茲に三十年、短氣なる姑をして遂に誠意感謝の意を表せしむるに至る、奇特の至りと云ふべし。

夕されば南の風に露きえて
見る月涼しき沖のいさり火　(重　恵)

季節料理

▲鮎の魚田樂　四五寸の鮎の腸を去り(去ると去らぬは、食する人の好みなり)、竹串に貫して炙き、味噌(擂りて裏漉にしたるに少量の醤油と味淋又は砂糖を加へる)を塗りて食す。

▲かき餅鯛　鯛肉を薄く巾七八分、長さ一寸五分位に切り、寒ざらしと鹽とを適宜にふりかけ、能くたゝき廣げ、蒸籠にて蒸し、冷えたる時盛りて出します。

▲茄子のしぎ燒き　茄子を丸のまゝ皮を去り水に漬けて、其のあくを出し、是を厚さ二寸程の輪切りとし、更に其の片を厚さ三分の竪に切り、串にさし豚油をぬりつけ、火に炙り次に味附を塗り、少しく狐色にこげる迄炙ります。

▲蠶豆の甘露煮　新蠶豆の皮を剝き、熱湯に入れてざつと煮で、目笊に入れてその湯を切り、水に入れ、水一合に砂糖盃に一杯、鹽同じ盃に中杯の割合の砂糖水をひたひたに入れ、鹽を加へ中火にかけ、豆が柔かになつて味がつくまで煮る。

御待兼のビクターの音譜の新荷只今到着いたしました至急御來店の上御試聽下さる樣待上け候

堅牢にして而かも優雅、其一度發聲するや肉聲と鑑別する事を得ざる程巧妙を極む
世界空前の大音樂家「カルーソー」氏を初めとし幾多の名手より寄せられたる賞讃狀山の如し

●日本曲
伊十郎、呂昇
橘左子、春子
太夫、源太夫
朝太夫、實生
九郎、梅若萬
三郎、小さん
立花家三好
一心亭辰雄
其他數百種

●西洋曲
スーザ、ブラ樂隊
イヤーの「オマ」
フテンダーラ
イーパイルフ
リンの「セパ」
ソ、ホルヒ
ーの歌のッピ
クハウス
アノ其他數千

目錄御一報次第送呈仕候

東京銀座三丁目
十字屋樂器店
電話京橋 特一二五九 二八八四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

茶ばなし

百合子

八 こんな小言

『坊や、そんなに裸體で居ると、雷樣からお臍を取られますよ』とか『御飯を喰べてから直に寢ると牛になります』などゝは、能く皆樣がおつしやることで御座ります。之は子供が少成長くなり少しく智慧がつきますと、直に嘘といふことが判りますので、罪も酬も無いことでありますが、同じく嘘が手段の小言でも、『爪が火にはひると狂人になる』とか、『蚰蜒に舐められると禿になる』などゝ申しますのはその結果が急に見えない爲めに、實際狂人になりはすまいかと痛心し、爲めに精神に異狀を來した氣の弱い婦人もあつたとやら、警戒ねばならぬ事と存じます。

九 答六百五十八萬九千六百七十二匹

蚤と申す小憎らしい昆蟲が、一番多く私等の身體を刺しますのは、先づ四月から十月迄の七ヶ月間でありますが、蚤が卵から親蚤になつて、卵を産みます迄には凡そ四週間かゝります、そして其の卵は一度に十二顆位づゝ産むのです。卵は一週間經過ないうちに、孵化て幼い蟲となり、腐りかゝつた疊や塵埃の御馳走で次第と大きくなりまして、産れて十日目には立派な大人になり、蚤一匹の働きを致すのであります。

さて蚤一匹が産む卵の數の半分丈を雌としますれば、初め一匹の蚤であつたものが、七ヶ月の間には幾匹に繁殖るのでありませうか。答は六百五十八萬九千六百七十二匹、……なんと驚くべき多數ではありませんか。

應募

家政育兒の實驗

家事のいろ／＼（二）

岐阜　野村なか子

▲衣服の仕立方

さて前にも申した通り、衣服は寸法の工合によりまして、大そう上品にも下品にも見られるものでありますが、先づ寸法上に於きましては、在來の並寸法に依りませずに、寧ろ各自の體格につきて定むるが宜しからうと存じます。西洋服は身體、各部の寸法によつて裁縫致しますので、ゆるみなく仕立てられます、と申して和服も之に倣ひ一々各部の寸法を取りましても、現今の裁方によりましては、ゆるみの無い樣に仕立てる事は不可能の事であります。さりながら、比較的肩がどうとか、胸がどうとかを承知しまして、人體につり合ひよき服を仕立てればなりませぬ。和服のゆつくりして居るのは、人體にとりまして可い點でありますが、それも程度がありまして、恰好に深く關係致しますから、注意すべき事であります

衣服の各部の寸法は、土地によつて幾分差異がある樣に存じます。例ば袖口の寸法に致しましても、東京では大人男物は八寸に致しますが、地方では七寸又は七寸五分に致すやうです。東京では女物袖口は割に小さいのに比し、京都では袖口が大きければ、手が小さく見えるといふので割合に大きくする樣であります。京都では土地柄そのやうな事を標準に致しますのも、一寸注意すべき事で御座います。

又女子の筒袖姿は目につきて見苦しいといふ感じが致しますが、九州地方の女學生が筒袖を辭て居るのを見ましても、左程異樣の感じが致しませぬ。これは肌との平均をよくするため、筒袖を割合大きく致して居るからであらうと思ひます。米澤地方では女子が十四五歳になりますれば、本衿（三寸巾）にいたすとか聞き及んで居ります。これ等は土地の習慣でありませう。

かやうに、土地によつて種々差異があるやうで御座いますが、要するに其目的は人體につり合ひよく仕立つるにあるので御座います。

行が短いと下品だとか、躾付が多ければ上品だとかいくらも申しますが、出來る事ならば、衿肩の明方でも相違すべきを、さうは出來なくても縫方に於きましてなり、多少考ふべきことで御座います。

縫方に就きましては、裁方寸法上に於けるよりも、一層細かい注意をいたさればなりますまい、かやうに注意致しますれ、自然裁方をいたす際に體がどうであるから、衽巾は廣くするの、衿巾はどんなに裁つのとかいふ考が出來ませうと存じます。

終りに申したいのは、衣服を正しく着するには、心持が正しくなくてはならぬ、心持さへ正しければ衣服は自然禮に適ふといふ事を忘れてならぬことであります。

家政の實驗談 育兒の實驗談を募集致します、

家事經濟の執り方、臺所の注意、下婢の使ひ方、洗濯の爲方、漬物の漬方、品物の保存法、子供の躾け方、子供の衣服の拵り方、おしめの取り扱ひ方、添寢の歌や子守の歌、子供に讀ませる書籍の注意、其の他苟も家政と育兒に關し、有益と思召す事でも、有害と思召す事でも凡て實際に御經驗の御話が承りたいのであります。文體は如何でも、唯判りさへすれば宜しう御座います、端書でも封書でも差支ありません。續々御投書を祈ります。

愛國婦人發行所

避暑欄

●温泉地に於ける心得（湯化之助）

かう暑くなつて來ては、何處かへ避暑でもせねば耐らぬ、昔々の爺婆なら、爺は山へ、婆は河と極つて居るが、草を刈つたり洗濯したりする爲めでなく、ヤレ衛生の、ソレ健康のと、人々の體質から割り出さねばならぬ今の世に、山なら山、海なら海と定めて置かれまい、海へ行つても、山へ行つても、必ず爲ねばならぬ避暑の心得、往はよい／＼復は恐いといふ天神樣へ願かけに／＼と子供の遊戲にさも似たやうに、山へ出掛けて温泉やけ海へ出かけて日にやけ汐風、後の祟が恐ろしいと人はよくいふ口ではあるが、开も温泉にやけもせず、汐風日にもやけないといふ、妙法さへ心得て居たならば、樂しく避暑が出來る譯、さても妙法いかにと問はゞ、まづ山へ出掛けて温泉に浴する折の心得は、温泉燒をしないやうにするので、温泉には種々あつて、鹽分の多いのも、鑛質のもある、之に對するのには、鑛質や鹽分の爲めに受ける身體の營養のみを取つて、爲めに受ける皮膚の荒廢を防ぐのに、顔を洗ふときには、金盥に取つた湯水の中へレート化粧水を滴し、よく攪拌して用ゐ、洗つて了つたらば、クレームレートを薄く塗つて、セーム革で擦りながら拭き取つて置けば、皮膚の荒れることもなく、温泉燒などになることはない、又温泉場でお化粧をなさると、白粉が焦けるといふのは、鉛分が温泉に逢つて變化するからで、無鉛乳白のレート白粉なら、少しもそんな心配はない、而してレート白粉には、濃化粧用に煉製があり、薄化粧用に水製があり、洋化粧に粉製があり、顔直し汗押へに打白粉があり、又、煉と水とには自然色と白色とあつて、日本人の皮膚色をそのまゝに出す新發明の白粉があつて、濃化粧でも、薄化粧でも、自由自在に出來ます、是は色の蒼白い人や、夜間の燈火に青味を帶びて見えるのを防ぐのに、白色の白粉と混合して用ふか、黒い加減の色の人なら、この自然色を塗けた上へ白色を塗け、白い加減の色の人なら、白色を塗けた上へ自然色を塗け、その上をレート打白粉で顔直しをすれば宜しい、すべて化粧をするには、皮膚の土臺が肝腎であるから、レート化粧水とクレームレートとで化粧下をした上で、レート白粉を塗ければ、温泉やけもせねば、白粉も變化することがなく、往き復も同じ美しさといふよりも、今迄は温泉やけで困つた人でも、今年は却つて温泉化粧で美しくなつたといふやうに、見違へる程美しい人となることは請合で、この暑さに温泉へでも出掛けやうといふ人々は、必ず此の方法を續けて、涼しく樂しく夏の日を御暮しになることを、心からお勸めする次第である

巴風呂　專賣　特許
一錢の石炭　三十分デ沸ク　一くべで
巴商會

ちじれ毛くせ毛　一大奇方
本法は　女髮結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く滿足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ
東京麹町區三番町六七　小林濟世園

實用新案　複製形　名　ミカド火のし
●圖の如く外部には裝飾兼備の風通穴あり以て熱度の加減を自由ならしめ僅少の炭にて長時間使用し得る實用的至便の良器なり
定價　甲　金一圓八十五錢　乙　金一圓三十五錢
實用新案　火のし臺
此火のし臺は金屬製にして御使用の節は是非必要の器具なり　甲卅錢　乙十六錢
●販賣所全國到る處の金物商店にあり
日本橋通油町　製造發賣元　電浪二四六二　石川商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近の御製（上）

高崎正風男謹話

我が天皇陛下の御文德に富ませ給ふとは今更申すも畏き事ながら日々夜々に詠み出で給ひし御製は既に九萬餘首の多きに及びたるが何れも難有きものにて今日此の頃の暑さにも毎日御學問所に出御相成り萬機を擬はし給ふ其の御暇には只だ御製を遊ばさるゝの外何等の御慰みとてはあらせられずと承はるぞかしこき今予に拜見仰付けられし最近の御製に

夢

たらちねの
親のみまへに
ありと見し
ゆめの惜しくも
さめにける哉

と云ふがあり這は陛下が御夢の中に先帝を見させ給ひし折り詠ませ給ひしものにて先帝崩御ましましてより既に四十五年陛下の御至孝なる猶屢〻先帝を夢み給はせらるゝよし承はる又

快樂

千よろつの
民と偕にも
樂しむに
ますたのしみは
あらしとそ思ふ

と云へる御製あり陛下の天下蒼生の苦樂を安じさせ給ひて民と樂みを偕にせんと宣ふ大御心を拜しては誰かは難有さに感泣せざるものやある又

草木

花になり
實になる見れば
草も木も
なへてつとめは
ある世なりけり

との御製あり斯く陛下は職分てふものは草木にさへありと思召され給ふゆゑ三伏の暑中にも日々各大臣が上れる四十餘通にも達する國務上の文書を御覽せられて一日を怠らせ給はず萬民また決して其の職務を怠るべからずとの教訓を躬ら御實踐ありて範を垂れさせ給ふなり

勉學

いとまなき
身もあさゆふに
いそしみぬ
思ひ入りたる
道のためには

との御製あり這は陛下御自身が御多忙の御身にて晝の間は政務を擬はし朝夕に歌道を勵ませ給ふ事を詠ませられたるにやあらん是亦我等のため最も好き教訓を與へ給ひしものと拜し奉るべし又

友

あやまちを
いさめかはして
國のため
ちからをつくせ
ますらをのとも

なる御製あり這は友人相互の間は過失を諫め合ひて戮力協心國家のため盡瘁すべきやう訓へ給ふ思召より出でしものなりと拜し奉る（國民）

蚊遣火（應募和歌）

坂正臣先生選

一等（賞品贈呈）　播磨國宍粟郡菅野村　長田あき子

朝まだき田の面にみゆるうすもやは里の蚊遣の名殘りなるらん

二等ノ一（賞品贈呈）　岡山縣吉田の郷村　西村長子

いふせさをいとひまさずはたひの僧あかしてゆかせかやりたくいほ

二等ノ二（賞品贈呈）　麻布　浪子

蚊遣火に顔うちそむけ祖母君は宮づかへせし昔語りぬ

三等ノ一　横濱市尾上町　鈴木しげ子

かやりしてまてとも人のとひこねばわれのみむねのこがれぬるかな

三等ノ二　横濱市辨天通　鈴木伊都子

うなゐ子をそそと寢せつけてしばし又衣ぬふなり蚊遣火の下

三等ノ三　岐阜縣加茂郡和知村　野村なか子

かやりたき文よむなつのよひよひ軒にそよとのかぜも音せず

佳作

くれゆけば時ぞとよする蚊の聲もたくけむりにはるすがらりゆく　麻布　志賀淑子

夕間暮とひ來し人を門のとに暫時立たせてたく蚊遣かな　長野　篠根ちか子

夕かほの花咲ころのゆふ暮に宿てふやとはかやりたくなり　芝　土師利根子

いふせさに賤もそとにやいてつらむうすれて見ゆるたちの蚊遣火　三河　山内經子

よき友と歌かたりしてかやり火も言葉もたえぬ夏のよはかな　岡山　西村清子

ほの〳〵と月しろむまで山里に殘るけふりや蚊遊なるなん　岡山　森島古野子

おく山の木の間に白くけふれるは柚が小家の蚊やりなるらん　兵庫　三畑たか子

蚊遣たきてひとへ衣なぬふ母のそはに文よむ夏の夕くれ　備中　谷とめ子

月影のくもるとみしはかやり火の軒端をつたふけふりなりけり　丹後　守田もと子

端居して文よむわしのかたはらに妻はそひゐて蚊遣たくなり　岡山　墨江幸子

軒はもる七日の月のくもるまでかやりたくなり夕かほの宿　長崎　相部芳子

野歸りないたはる爺と孫二人背を撫づるかな蚊遣たくかな　備中　仲田町子

いふせさも愿はまりけりゆあみして端居すゝしき軒のかやり火　赤坂　清水まつ子

馬引て歸りみすれば夕兒の畑より淡く薫る蚊遣火　三河　岡部康子

日くるればたかやも同じかやり火のけふりたちたつ小山田の里　神奈川　足立原とく子

いふせさもなるればなれてたかぬ夜はわすられまりけり園のかやり火　山口　末田良節子

夕月の匂ふ〳〵に立わたるけむりは里のかやりなるらん　岩手　渡邊雪慕子

いふせさのほともしられてあはれなり賤か伏屋の軒の蚊やり火　山口　末田竹子

雨ちかき程そしらるゝかやり火のけふり軒端に立まよひつゝ　豐橋　都築悦子

蚊遣火は網乾す家の小窓よりはまなでしこの暗に流るゝ　京都　蘇子

いとゝ貧暑くるしくぞみえにけるのきにふすぶる賤かかやり火　同　難波眞久子

侘び住のゝきよりくゆる蚊遣火の煙深き此夕べかな　大阪　藪田ゆき子

何となく哀れなそへてかやりびをひとりたくなりよしきふの宿　横濱　鈴木まつ子

かきあつめたきくゆらするあくた火の烟に遠くなれる蚊の聲　岡山　林　秀子

蚊遣して端居に凉む姉妹話も更けて月さやかなり　日本橋　柿沼野菊子

この業た今宵果すと筆とれは妹はかとにかやりたくなり　岩代　小川しん子

かやり火の庭の木立に消えさりてあと凉しくもてらす月かな　京橋　宇佐見こま子

かた賤ふ賤かの家はの夕けふりこゝろほそくもたちなひきけり　尾張　土方梅乃子

夕されはたきくゆらする蚊遣火にいぶせさそはる賤か軒かな　岐阜　鈴木まる子

子等はみな野らの仕事に勞れつゝ歸る藁屋に蚊火のくゆれる　盛岡　不來方みき子

のこりなく蚊火のけふりは立消て文讀まとに月はさし入る　靜田　伊藤美野子

よくたきしかひのなこりを朝霧と人やみるらん小山田の里　北海道　五十嵐やす子

俳句

鳴雪先生選

天

金殿の或夜ひそかに鳴く蚊かな　埼玉縣秩父郡兩神村薄　佐竹及子

地

墨染の袂をくゞる藪蚊かな　長崎　芳子

人

宮人の蚊柱仰ぐ夕日かな　盛岡　原はな子

佳作

○川風に流れてはしる藪蚊哉　長崎　芳子

◎軒古りて蚊のむつれよる夕かな　本郷　中村えい子

○蚊一つ咽へ飛び込むむせひ哉　愛知　土方梅乃子

○蚊に留守を任せて出たる凉みかな　三重　前田千鶴子

○蚊も醉ひ睡覺も醉ふ夜なりけり　備中　仲田町子

○夕月も賣に見ゆる軒の蚊遣哉　日本橋　柿沼野菊子

○蚊のうなり軒煙籠の火は消えて　靜岡　花香子

○行暮れし菅の小笠に蚊のうなり　愛知　岡部康子

○蚊柱の折れなんとする朝の雨　横濱　李花子

○門の大身ふるひしけり蚊の聲に　日向　岩切たに子

○醉伏した父に蚊を追ひまゐらせぬ　豐橋　都築悦子

○學問の當りた蟄すやぶ蚊哉　兵庫　三畑たか子

物言へば蚊の口に入る草戸哉

牛部屋の牛曳出せは鳴蚊哉

新學期開始
見本會則附往復端書にて申込次第無料進呈す
目下 入學の最好機 此際至急入學者には特典あり 十ヶ月卒業
和歌講義錄
講師は新派歌の名家拾餘名なり 柾目紙印刷 懇切平易 總振がな 添削無
東京神田旅籠町一 大日本短歌會

ハチ印 シヤンペンサイダ
製造元 [illegible]谷

▲愛國文苑▼

◎和歌　織女契久（八月十日締切）萩露如花（八月廿五日締切）　坂正臣先生選

◎和歌　月前秋風（九月十日締切）寄蟲述懷（九月廿五日締切）　佐佐木信綱先生選

◎俳句　殘暑（八月廿日締切）鬼打（九月五日締切）　内藤鳴雪先生選

▲愛國文苑▼

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

宇都宮孝子傳（一〇）

大島　光利口演

唐津の松原鳥島の朝の景、忽ち筑前大宰府に來たり天滿宮に詣で、夫より椎居の宮を拜し九州中國の海峽を超へ安藝の宮島へ出で嚴島辨財天に詣る、母の喜び何にたとへんものも無し、野山に見慣ぬ花の色、聽きなれざる小鳥の鳴音も面白く、親子寄々打語ひ遂に攝津國大坂に來て、夫より京都に入り御所の前にて親子共々遙拜し東山の絕景、智恩院大佛、清水觀世音に詣で、醍醐小原八瀨八幡、祇園島原、上加茂下加茂、みぞろケ池、嵯峨や、小室の花盛りうはきな蝶もいろかせぐ、名所は普く見物し、夫より京都を立出て、五十三次の驛路も恙がなく江戸表へ着しまして、流石武斷政治の旺盛の頃とて、日本全國より此の都會へ來る士農工商夥しく、往來繁き其有樣、實に百萬石も肩擁れ摺れ違ふたる繁昌と云ひしも宜なり、年老し母は斯る繁華は好まず、更に奧州松島を見物し、光り堂瑞巖寺等へ詣でたしと云ふ、委細承知致しましたと奧州を志し、江戸を立ちしは秋の最中、見渡す限り草茫々たる那須ケ原、野州黑羽の山脈打縮て連山波濤の如く、左りは名代の高原山雲に聳え、其中央が奧州街道、白河は奧州の一の關と人は云ふめれど、前九年後三年の其昔は此の邊は往來にあらず、棚倉と白河の中央こそ昔の一の關なるぞと母に打語ひ、義經の古蹟を見物し、軈て來りし二本松、末の榮華を福島の城下を後に過ぎとしかた、身のなりゆきは如何ぞと思へば胸に陸奧の、信夫綟ずり誰ゆゑに、青葉山の城下に着し、直ぐ樣松島に參りました、實に其の絕景畫工も筆を投ぐると云ふ、日本三景の第一、千松島の景色に母は恍惚として見とれ、里人の案內にて富山に登ぼり、再び松島を眼下に見おろす、瑞巖寺に詣で、寶物を展覽爲し、再び仙臺の城下に戻りし時は、坐して喰へば山をも空しの例へ、貯蓄の金頓に盡果たるには市兵衞も閉口しました、左れど此の事を老ぬる女に話しなば力を落さんか如何にと、平氣を衒ふて共共に再び戻る關東に、野州河內郡宇都宮の城下に着しました、此度は此の後本多上野介正純釣天井の計畫破れ、家斷絕爲したるは今尙ほ口碑に傳はる、夫がかの釣天井の跡杯と申す怪げなる古蹟も今日ありますが、未だ此頃は宇都宮の城主は奧平大膳大夫忠昌侯にて表高十五萬石、餘事を申して恐入りますが、國の發展は交通の便にありとか申して、幕府の頃宇都宮は田舍の江戸と申せども、日本六十餘州にて海なき一國に數へられたる土地とて、何れの旅籠屋へ泊りましても魚と云ふものを更に出しません、俗に山肴と稱へやまべ又は各川で捕る鮎、或は鱒なぞが最上の魚類と致しました、けれども夫は寛永の昔、今日東京の魚河岸に魚缺乏しても、猶は野州宇都宮邊は生魚が澤山魚屋の店頭に並ぶと云ふ、是は北海道より氷詰にしてチブス患者同樣な魚が舞ひ込む故、今日では何事も東京と同じく不自由は御座いません、宇都宮に其頃池上町と云ふ處が御座いまして、今も町名は御座いますが、然し昔のおも影も止めず大分寂寥た樣で御座いますが、宿場女郎の多い處で軒端を並べて、うかれ男の袖を引く、池上町の角に向ひあつて二軒の宿屋あり、一軒を角屋と云ひ、一軒を笹屋十兵衞と申す其笹屋方に筑紫親子は泊りました、恰度今日の正午頃、貯への金は最早盡きまして、豪傑變じて空乏となりました、然るに翌朝快晴であるが、出立も爲ない、何とかならんと心得て、七日十日と滯留を致しました、母が寢酒の一合も飲むを此上なき樂みとなさる故、市兵衞も飲む口なれど、拂ひの處も覺束なき故、己れも飲では不都合ならんと、病氣を云いたて唯母が舌打するを見て無上の樂みと致します、多く滯留の客もあるが、市兵衞親子は只二度二荒神社に詣でた限り、別に市中の見物もせず、と云つて當所に用ありとも思へず、合點ゆかざる滯留客よと男女の奉公人が折々此の噂を致します。

▲●●●●赤堀料理講義錄●●●●　日本橋區本銀町一ノ一　赤堀

料理教場より發行する一ヶ年修業の講義錄にて遠隔の地に在る婦人は此の講義錄により和洋料理法、菓子製造法其他家政に於ける最新式にしても而も最も實際なる智識を養成し得べく、外に六ヶ月修業の普通科と、三ヶ月修業の速成科との設あり、又來る八月一日より、廿日迄夏季講習會を開催する筈なるが既に申込者も頻々たる由なれば、希望者は大至急申込まれざれば、滿員にて募集〆切となるべしと。

ニキビ　そばかす、なまづ、田蟲其他吹出物一切に特効ある藤本藥學士發見最新奇藥製劑發賣す郵劵二錢封入者に該病療法事無代進呈
東京本郷區東片町二九　振替口座東京七六二九　長田商會

凱旋サイダー

御扇子　愛國婦人會御用達　京都寺町五條下ル東側　御影堂　持阿彌

凱旋サイダー

日本橋區元大阪町八番地

高木與兵衞

DIGESTIN　新消化藥ヂケスチン
日、英、米、露、佛、伊、白、印、加、墨、墺、濠、瑞、十三ヶ國　政府特許　專賣
▲銀賞牌受領！（發明品博覽會日英大博覽會に於て）
本品の特徵は彼のヂアスターゼと異り單に澱粉質のみを消化するものに非ずして克く食物中の主要成分たる蛋白質をも完全に消化血中へ吸收せしむる世界無比の腸胃最新藥なり▲販賣所は各地藥店にあり（尙ほ詳細說明書は御申込次第送呈す）
發賣元　合資會社　圓城商會　東京市日本橋區本町三丁目

紳士も　お孃さんも　奧さんも　薫りよき千代田香油に限ると高評盛んなり
定價　特製七十錢　大瓶卅五錢　中瓶廿五錢　小瓶十七錢
東京馬喰町　發賣元　山岸三之助

入娶　道具　京都美川澤町　宮崎ダンス　電一八二〇番

ニキビそばかすに
苦悶者は藥學界の泰斗藥學士藤本理先生が半生の心血を注ぎ發見せられた特種の奇藥クウルーを使用して速に苦悶を脫せよ但し本劑の希望者は本劑購求前又は同時に本劑の說明書を要求せられ其特効たるを確認の上使用を乞ふ⊙藥價輕症用五十錢送料市內四錢地方八錢清朝臺灣卅錢
東京本鄕切通坂町卅四番地　長田伊平　振替口座東京貳壹貳貳五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●齒科診療
義齒金銀、護謨其他隨意應需低廉にして懇切叮嚀に取扱仕候　貧困者には施療す
日本橋區龜島町一丁目三七（地藏橋より約一丁）
順天堂齒科醫院

◉小兒科　殊に營養障害
淺草下平右衛門町十七
內山小兒科醫院（電下二參六五）
院長ドクトルメヂチーネ　內山好十

小兒科
赤坂區青山南町三丁目
醫學士　石塚保吉
電話芝三四七四番

產科婦人科
小兒科
牛込區納戸町三六
電話番一〇四〇番
野中醫院

產科婦人科
天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長　醫學士　天本治
（入院隨意）
（電話下谷二六六九）

◎產科、婦人科
◎內科。小兒科
小石川西江戸川二六
電話番町（一四二六）
森種太郎

腦神經精神病
東京赤坂青山病院內
帝國腦病院
院長ドクトル　藤紀一
醫學士　望月溫象
在獨逸　田澤醫學士
特電芝二七四五
電芝二六六五
電芝三四〇六

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士　榊田義衛
電話本局三一一九〇

東洋內科醫院
院長診察、月、水、木、金、午前、入院、診後應需、松田、林、峰間三副長八日目下當院ニ在勤
東京神田區駿河臺鈴木町二番地（御茶水橋附近）
電、本八八八番（病院用）八九八番（私宅用）
院長　醫學士　高田畊安

南湖院
神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱（從停車場半里）
電、チカサキ二番
河野、高橋、兩副長八日目下當院ニ在勤、院長診察土曜日午後、入院、診後應需、

內科診察
宅診午前及夜間九時迄
往診午後
麴町區四番町四番地（電話番町貳三八四）
醫學士　中山敏樹

產科婦人科
小兒科專門
四ッ谷左門町五番地
佐伯醫院
電話番町（二〇一六番）

ぬりもの一式

蒔絵美術品
木杯及金銀杯
東京日本橋區通二丁目
漆器問屋
きん藤　小林藤右衛門
電話本局長　五〇六番　九〇六番　九八五番
賞勲局　陸軍省　日本赤十字社　愛國婦人会　御用

濱町病院
日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
產科婦人科
院長醫學士　小林八十七
醫學士　大瀬貴明
醫學得業士　杉原格藏
醫學士　佐野綱次郎

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

內科橋田病院
（錦町三丁目電車停留場側）
●隔離室設備（診察午前入院隨時）
院長　醫學士　橋田茂重
病院　神田錦町三ノ一九（電本一三三九）
自宅　牛込甲良町一一（電番一九六）

…（診察時間）…
○產科、婦人科
入院應需
月、水、金午前　橋爪病院（浪花二六〇番）（日本橋區龜島町一の廿九）
毎日二時より五時迄　自宅（下谷二四八七）本郷區眞砂町十五番地
醫學士　橋爪哲造

櫛（くし）と笄（かうがひ）と簪（かんざし）

御婦人頭髮用裝飾品は
最も流行せる御品を御用ゐ遊ばすをよしとす。
△御婚禮に必要なる本鼈甲花付　櫛　笄（八十五圓以上）あり。
△丸髷用としては蒔繪又は割貝入　櫛　笄（二圓以上）あり。
△ハイカラ向としては佛國製束髮用櫛（一圓以上）あり。
△土佐珊瑚（四圓以上）又は古渡珊瑚　玉簪（廿五圓以上）あり。
△夏向として如何にも涼さうな翡翠の根掛（十圓以上）あり。
△御孃樣、女學生向としては巾廣のリボン（一尺廿錢以上）あり。
△三越の新案にして大評判なる　飛行機簪（二十五錢）あり。
三越は最も信用を重んず
三越へ御出での上安心して御求め遊されたし。

東京駿河町
三越呉服店

內科
小兒內科
神田表神保町（駿河臺下東明館裏四ッ目十番地ホ號（○町右へ入））
醫學士　原勇四郎

內田病院
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士　內田愼太郎
（午後診察）副院長醫學士　瀧原五郎
（電話下谷七一八）

產科婦人科小兒科
鷲山改姓
診察院長　女醫　吉岡彌生
時間醫員　毎日八時より
毎日三時より
病室及產室の設けあり入院隨時
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院　電話番町二二五七

◎產科婦人科
芝明舟町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

○婦人科○產科
飯田橋電車停留場脇
中島襄吉

◉院長ドクトル　木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話京橋一六七〇）
婦人科產科
木村病院

內科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診　午後往診
電話本局貳千九百七拾番
板垣亨

婦人科產科
醫學博士　榊順次郎　毎日午前診察
醫學士　久保德太郎　日曜水曜午後婦人科的外科
醫學士　田代謹二　火木土曜日午後泌尿器病及內
●●施療火木土午後自一時至二時
施療姙婦產婦ヲ取扱フ
麴町區三番町三三（電話番町三〇三三）
榊病院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

有名なる

精撰廉價、堅實懇切

ハカマヤ

裁縫巧妙、染色保證

東京神田小川町

影山專門店

電話本局　三八二六番

●下田歌子先生新著製本出來　◎定價壹圓五拾錢（函入美本）◎送料郵稅拾貳錢

婦人禮法

◎先生は現代禮法の師表也

◎禮は婦人の品格美容の淑德の源泉なり

◎各階級に應じて差別ある禮法の丁寧說明

◎和洋兩式に共に應用自在

◎實演寫眞四十八種

◎全國家庭の一大寶典

見よ內容の一斑

▲本書說明の重なる禮法：訪問△對客△集會△結納婚禮　坐作△言語△愛情△化粧衣服　宴會△途上△暇乞△祝賀贈答　出產△年賀△舞踏△計音葬祭　進物△馳走△忌服△席次配膳　招待△給仕△茶菓△退席告別　客室△裝飾△乘車△新婚旅行　取次△名刺△出迎△訪問時刻　着席△道具△茶話△數客應接　近付△見送△返禮△泊客款待：▲其他現代禮法一切網羅：

▼婦人常識の養成（四版）下田歌子著　◎定價一圓五十錢　◎送料十二錢

▼婦人の心理　元良福來兩博士序　村田天籟著　◎價六十錢　◎送料八錢

▼衞生十二ヶ月　樫田醫學士著　四季衞生注意小易說明　◎價二十錢　◎郵稅四錢

跡見花蹊●棚橋絢子●三輪田眞佐子●下田歌子●山脇房子●嘉悅孝子先生序　日本女子商業學校講師渡邊白水君著　價上製七十五錢並六十錢　郵稅八錢

少女美談

◎我國古來烈婦貞女の面影

◎子女教育の絕好資料也

◎六大女子教育家の推薦せし良書

◎記述行文平易流麗裝幀花のごとし

烈婦竹子▲侍女小萬▲義人お繁　ささち女▲烈女お綱▲孝女お梅　時治の妻▲少女お婉▲烈女ふじ　小谷の方▲孝女とら▲孝女お大　孝女永井▲本田姉妹▲此外澤山

▼烈婦美譚　大和撫子（忽再版）井上民子著　▲定價四拾五錢　▲郵稅六錢

發行所　東京京橋南紺屋町　實業之日本社　振替貯金六參貳番　賣捌所全國各地書店

LACTAGOL

ラクタゴール

無乳產婦の福音！

本品ハ「ベックマン」博士ニ據リテ報告セラレタル無臭美味毫モ副作用ナク蛋白質及脂肪質ノ多量ヲ含有セル乳汁ヲ分泌セシムル新藥ニシテ本邦ニ於テハ「ドクトル千秋雄雌郎氏」ニ據リテ既ニ二十六人ノ產婦ニ試用セラレ其症ニ據リテハ服用ノ初日ニ於テ効能ヲ發揮シ他ノ場合ニモ七八日間連服セシムレバ完全ニ奏効ス

（用法容易）「ドクトル千秋氏」ノ報告印刷物御要求ニ從ヒ無代進呈ス

一日用量十五瓦ニシテ百瓦入壹函代價參圓也

乳汁分泌催進劑！

東京市日本橋區本石町三丁目

藥種問屋　㋣中村瀧次郎

電話（長）八六九番　本局三五六九番

振替貯金口座東京九四三番

消化と毒けし

ゼム

皆様

今日もまた

丈夫で元氣で

心から愉快に

「暮す樣」

「ゼム」を今すぐ召上れ

到る所の賣藥化粧品店にあり

創立　明治九年

資本金　五百萬圓

積立金　參百參拾萬圓

東京市日本橋區小舟町

株式會社　第三銀行

電話浪花　四四二　四五四一　三七七一　四五六〇

監督　安田善三郎

頭取　安田善四郎

營業部長　清水虎吉

金婚正宗の名譽

●御進物用には至極好適

畏くも東宮殿下御買上の榮を荷へり

優等清酒金婚正宗の品質純良なるは既に定評あり而も價額尤も低廉也

●御常飲用には樽詰もあり

宴會用御瓶詰あり

瓶詰箱入

各洋酒問屋にあり

發賣元

神田美土代町二丁目角

豐島屋本店

電話本局　一七五四　三八八一

東京市日本橋區通一丁目

合名會社　森村銀行

電話（特）本局六七三番　電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月　年四分五厘

當座預金　百圓に付日歩　五厘

特別當座預金　同日歩　九厘

植物性原料

故侍醫　柏村博士考案

御室白粉

東京麴町區飯田町一ノ七

本舖　薰香園

東京日本橋區橫山町三丁目

特約店　柳下藤五郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

別染すゐなゆかた
めりんす友染新形
いせざきめいせん
其外暑中御進物品
東京人形町通よし町
赤のれん
おむなや本店
電話 四三四五
向ふまへ
おむなやめりんす店

實用新案特許
衛生「おしめいらず」
一號 六十錢
二號 五十五錢
三號 五十錢
郵送料 金八錢

▲此おしめいらずは裏表を白ネルにて仕立て其中をゴム引となしたるものなれば大小便の漏れたり又は浸出す事なく殊に取外し便利なる腹掛も附きおれば寢冷風邪等小兒に有勝ちの病氣を防ぐに特効あり旅行には携帯便利にして出産祝ひの御進物品として至極適當なり

新案特許出願中
安心月帯 一個 金九十五錢

▲安心月帯はおしめいらずを別仕立になしたるものにて月經の時に之を使用せば立居に些かの粗相なく平時は圖の如く腹部のみ取外し腹卷とする便利あり夏の海着に腰部の衛生に注意する方に極めて必要又洗濯には分解自由輕便なり

日本橋區村松町十二番地
製造發賣元 カ河善商店
（長電浪二七九三番振替口座二三九二）
特約店 上野廣小路松屋いとう呉服店
京橋區銀座二丁目 發明館
右の外全國到處の洋物店足袋店にあり
△特約販賣希望の方は至急御申込あれ

新案登錄第二〇六三〇號
都はり箱
避暑必携

都はり箱は優美高尚にして體裁書籍の如く蓋を開くと中を圖の如くに仕切り其内に起伏伸縮自在なる金屬製のくけ臺を取付け五色の糸は自動的に回轉し又はさみこて、へら二ッ折物さし、つま形、袖形、針り差指貫に至る迄の裁縫具が一切入れて有ますから御婦人方の避暑御旅行の携帯に頗る便別で尚は御孃樣方の學校携帯又家庭教育用として至極重寶故貴婦人方及御令孃樣方の御買上げ榮を賜りたれば益〻製品に注意し目下開會中の池の端の納涼博覽會に出品致したれば御參覽の節は是非御買上あらん事又御進物として最優美

定價
漆塗金蒔繪特製 金貳圓五拾錢
同 上等 金貳圓也
同 神代杉金文字入 金壹圓五拾錢
同 金壹圓也
色クロースブック形 金壹圓也
同上 但ジクタ臺木製ソマ形袖形ナシ 金六拾錢
郵税 市内四錢 内地拾錢 [illegible]拾貳錢 [illegible]廿錢

東京市淺草區西三筋町四十三番地
製造發賣元 安井都堂
振替口座東京貳壹五七六番
販賣は有名の呉服雜貨小間物文房具店及高等玩具店にあり

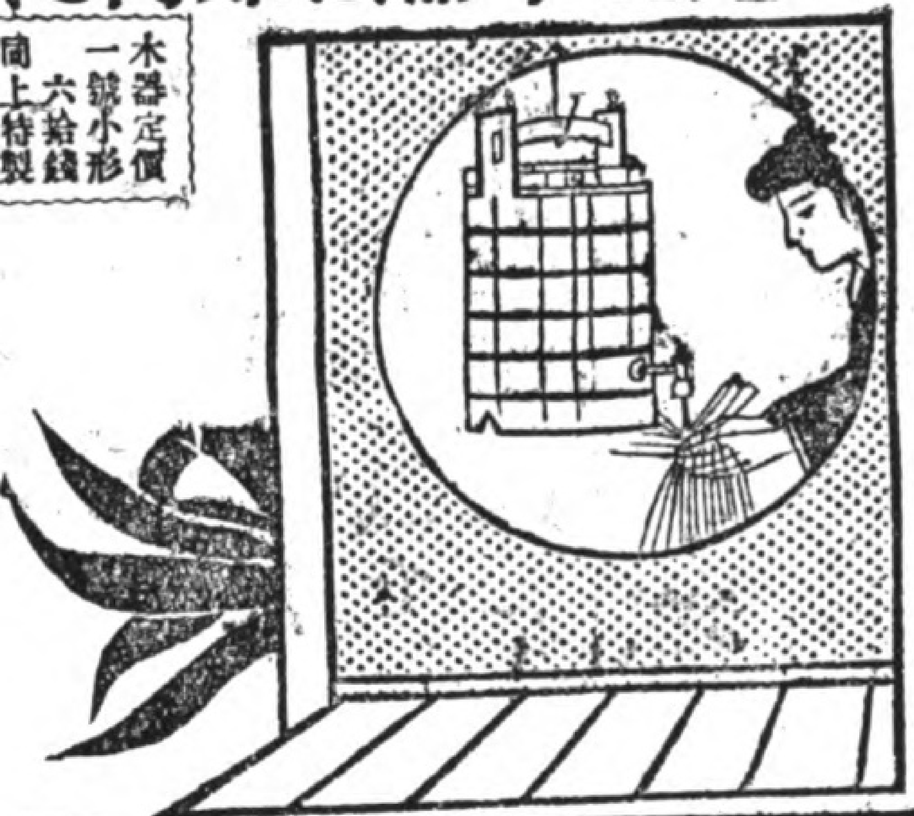
皮膚梅どく りん病 わきが 生殖器諸病 ぢ
東京淺草馬道町廿八
朝八時より九時迄
中央醫院

皮膚諸病 梅りん病 消渇 ぢ 田虫等
血の道 子宮病 月やくとまりたる病 子なき婦人
にきび 色の黒き人
そばかす あれ 生殖器諸病 神經衰弱
遺精 夢精 陰萎 早漏 發育不充分 記臆力減衰
わきが

▲病狀を記し郵券四錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥說明書を送る
東京淺草馬道町廿八 北町電車停留場
中央藥院

見よ本器は如何に衛生的の手洗器なるを

新案特許 中治式 衛生手洗器



木器定價 一號小形 六拾錢 同上特製 七拾五錢 一號大形 壹圓廿錢 同上特製 壹圓廿錢 二號大形 壹圓廿錢 發送料八錢 一號小形 木製水槽付金一圓五拾錢 送料十二錢

●本品の特長

從來の龍口は水を出す爲めに不潔な指で栓を捻り水を止める爲に復栓を捻るから清潔になつた指を舊の不潔に返して了ふ依て此手洗器は其缺點を補ひ上圖の如く排水口に垂下した棒を押上ぐると水が出る下に引けば水が止まる指の觸れた所が獨りで洗へるからトラホーム其他一般の傳染病豫防として學校、病院、貸座敷、料理屋、旅人宿など何んでも多人數集散する場所は勿論家庭衛生上も缺かれぬ良器である

東京市京橋區銀座弓町四番地
發賣元 加藤慶三郎
電話京橋二八三三番

愛國帯 一筋貳圓拾錢
東京市麴町區飯田町
愛國婦人發行所

凱旋サイダー

東京市京橋區新富町七丁目六番地
石鹸製造業
相馬帝國社

常ニ使用スレバ色ヲ美クシ肌ヲ滑ラカク光澤ヲ出ス
本品ノ特色ハ使用ノ際永ク湯水ノ中ニアルカ又ハ紙ノ如ク薄クナルマデ使用スルモ溶ケ又崩レルコトナシ

◎養鶏飼糧販賣
養鶏に關する經濟飼糧各種及び貝殼粉粋貝殼粒に魚骨肉粉玉蜀黍粉末廉價販賣
地玉子及衛生乾燥麥
『愛國婦人』愛讀者には特別御割引仕候
東京深川西元町三（新大橋際）森下町電車停留場より一丁
米穀雜穀乾物 牛馬養鶏飼糧
問屋高坂商店
電話浪花五八七九番
振替東京九九六番

婦人畫報
八月一日發行 八月の卷 一冊廿五錢
郵税二錢 六冊一圓五十錢 税共十二冊二圓八十錢 八錢

畫報
兩妃殿下 紬帶卷
東伏見宮兩殿下御着英
東宮妃殿下御歸京
英帝戴冠式壯觀
九條公令孃學校通ひ
新婚 建部博士夫妻 池田輝方夫妻
伯爵夫人令孃の夕涼
花にまがふ十數名家令孃
御前揮毫…へんめん
貴婦人の洗濯
ベールの立姿
名流婦人
水のほとり
少女の合作
朝鮮婦人風俗
女學生の歸省
米國婦人いろ〱
能書の少女と劍舞
花蹊女史の今と昔
自動車上の夫人
東宮妃お附の烏丸孃
新聞賣孝子と節婦
優美なる寫眞八十有餘

現下の婦人界と婦人問題は本誌中に收めてあり

美人 石川寅治 三色版二頁
女の嫉妬…源學士
大久保の女…戸川秋骨
新橋の一時間…尾島菊子
美人と食物…額田學士
海岸より…はる子
冗費廢物…井上秀子
夏の女の髪…ふみ
鳴海絞りの縫ひ方
化粧品の選擇
和歌初學…信綱
名婦鑑…いね子
貝殼…妹尾學士
手紙の書方
この頃の料理
家庭十二月
孝子と節婦

讀物
時間の經濟…中島博士
婦人と家事…小河博士
墮落と私生兒…上杉博士
男の運と女…大町桂月
本居宣長の母…上田博士
女の淺智惠…今井學士
其日其日…三宅花圃
机…小金井喜美子

東京麴町區飯田町四丁目四番地
東京社
電話番町二三三九番 振替口座一一八一八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

縫きに村井弦齋先生の賞讃を博し今又畏くも宮内省御買上の光榮を得たる

衛生に注意の男女方は彼れ是れ迷はずにみやけ油を御用ゐなさい模造品四方にあれば長髪美人商標と東京人形町みやけ油本舗製に御注意信用ある店に販賣す

電話浪花六二〇番　振替口座東京八七五番

於日英博覽會　賜名譽大賞牌

最上醤油　大カギダイ

下總銚子港　釀造元　鶴屋吉兵衛

到る所の酒醤油店に販賣す

大黑天印 宮崎葡萄液

●衛生を重ずる人は宮崎葡萄液を絶好の飲料として愛用せらる

●長井、下山兩博士の指導の下に創製せる本液は滋養に富める葡萄の純粹果汁なれば他の飲料に比類なき卓越なる特色を有し毫も酒精分を含まず芳香美味にして衛生に適し日常之を飲用せば消化力を助け筋肉を肥し滋養補血に偉大の効あり

宮内省御用達　發賣元　東京日本橋通旅籠町　甲斐産商店　宮崎光太郎　振替貯金口座一九三七番　電話浪花八七〇番

水晶おしろい

すきとうりたる水にて付るとも白くなる流行の薄化粧料にして目立ぬ故男子にても用ひらるる

定價　五拾錢　貳拾五錢　拾五錢

本舗　東京　大和屋

▲意匠斬新破格廉價札付

儀式用櫛笄　龜甲櫛中差　象牙銀簪指輪　金寶石入帶止ピン　珊瑚珠翠玉簪　根掛　リボン　束髪三枚櫛

格安土州珊瑚直取引市價よりは三割方廉價御便利爲御持古るしの小間物引取交換仕候

東京市神田須田町（電話本局二〇七六番 振替口座一六八一番）

鼈甲小間物商　三井屋德次郎

京橋區新橋際博品館内支店　神田裏神保町東明館内支店

婦人世界

八月一日發行　第六卷第九卷八月號　一部拾五錢　郵税一錢　半年分八十錢　一年分一圓五十錢　前金共増刊

●旅行中の奇談　村井弦齋

▽大懸賞募集（詳細本號に在り）

▽女三人寄れば着物の噂　棚橋絢子

消渇と腎臟炎の妙藥　弦齋夫人

▽夏の髪の結び方　關口ぶん

▽名士良人評判記　記者

●泥中白蓮一輪　大木伯爵

▽夏季來客の接待法の話　名流諸家

▽夫人の決心に勵まされし　野村船長　野村夫人

女學生と暑中休暇　各女學校生徒の告白

▽隅田川を泳ぎ切つた婦人　小弛八重

▽暑中汗の出ない法　樫田學士

●私の一日も忘れられぬ少女　下田歌子

東京京橋南紺屋町（電話京橋八七四）實業之日本社（振替貯金口座參貳六六番）賣捌全國各地書店

發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　濱口吉右衛門

最上醤油　チカサ

品質優等ニシテ調理ニ適ス

釀造元　千葉縣銚子町　濱口吉兵衛

宮内省御用達

最上醤油之元祖　上十

開業貳百六拾七年

釀造元　下總銚子町　濱口合名會社　振替貯金口座五〇貳號

◉愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金をお送りになる時は、振替貯金が一番安全い實で、紛失や未着の恐れもなく其の上郵便賃もいりませんから、御便利でございます。

但振替で御送金になる時は、拂込口座は記料として[illegible]

▲振替で御送金の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ます。

▲郵便切手で御注文又は御送金の節は必らず一割増にして願上ます。

▲愛國婦人發行所の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番でございます。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めた願ます

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京勸業博覽會二等賞牌受領

都足袋粹乃友

清涼足袋は曩に農商務省に出願して専用權の特許を得たり
清涼足袋は夏期要品たる實質を備へ殊に其の作法に於て佳人粹士の歡迎を受けつゝあり若し夫れ蹠に縫目なく衣服の裾を傷せざる等以て貴婦人の用に最適たり
又材料にも特殊の注意を拂ひあれば御履工合よく耐久力豐富なり

清涼足袋

○都足袋は曩に農商務省に出願して登錄商標専用權を得たる物なり
○都足袋は外觀優雅にして現に都人粹士の歡迎を受けつゝあり
○都足袋は蹠に縫目なく衣服の裾を傷ふことなし
○都足袋は製作に至大の注意を拂へり故に履具合良好にして縫目破綻の憂なし
○都足袋の材料最も優逸にして經濟上尠なからざる効力を有せり

白 紺 羽二重足袋

○羽二重足袋は外觀内容共に美麗にして一般社交界の好評を蒙れり
○羽二重足袋は御婚禮其他御儀式履きに缺くべからざる必要品なり
○羽二重足袋は衣裳の裾を傷めざるは勿論裾捌き最もよろし

各種足袋調進所

亀屋

地方よりの御注文は代金引換小包拾足以上は送料自店持にて御送品申上候

東京日本橋室町三丁目

亀屋 宮内清兵衛

電話本局一七一二番
振替東京一二三四六番

日本一の安い瓦斯は千代田瓦斯

◎千代田瓦斯は皆さんの御蔭によりて愈〻來七月上旬より點火致します。
◎千代田瓦斯は日本一の安い瓦斯であります。
◎瓦斯は經濟で、便利で、清潔で、安全で、石油よりも安い燃料であります。
◎瓦斯の光りは室内を綺麗に見せ、容貌を更に美化するの魔力を有つて居ります。
◎日本一の安い瓦斯は奥さん、孃さん方は申す迄もなくおさんどんにも最も親しい友人で御座います。
◎八月末までに申込下さる方々へは特に定價の五分引を致し又種々他の會社にない便法を設けて居りますから何卒此際速に御引用を御願申上ます。

芝區濱松町 千代田瓦斯株式會社
電話芝(二四一二・三四・二四一四・二四一六・二〇二一・三〇二一・三〇二三)

尚本社は此度次の個所に出張所を開設致しましたから御便利御申込を願ひます

芝區濱松町二丁目二十三番地
第一區(芝赤坂麻布)出張所(電芝二、四一三)

神田區淡路町一丁目一番地
第三區(神田本郷麹町)出張所(電本二、二六九)

淺草區芝崎町四十八番地
第五區(淺草下谷)出張所(電下四、五七三)

日本橋區北島町二丁目十七番地
第二區(京橋日本橋)出張所(電浪五、九六七)

牛込區揚場町八番地
第四區(牛込小石川四谷)出張所(電番三、二四六)

深川區新安宅町三十五番地
第六區(本所深川)出張所(電浪二、八五七)

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ

ラーロラ
BEETHAM'S
La-rola

を愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は日光、風、硬水に堪る様皮膚を保ち日焦アセモ、アレ赤顔ソバカス等を防ぐに尤も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若々しくす四季を通じて用ゆれば常に若々しく美しき皮膚を保ち得らるべし

M. BEETHAM AND SON.
CHELTENHAM, ENGLAND.

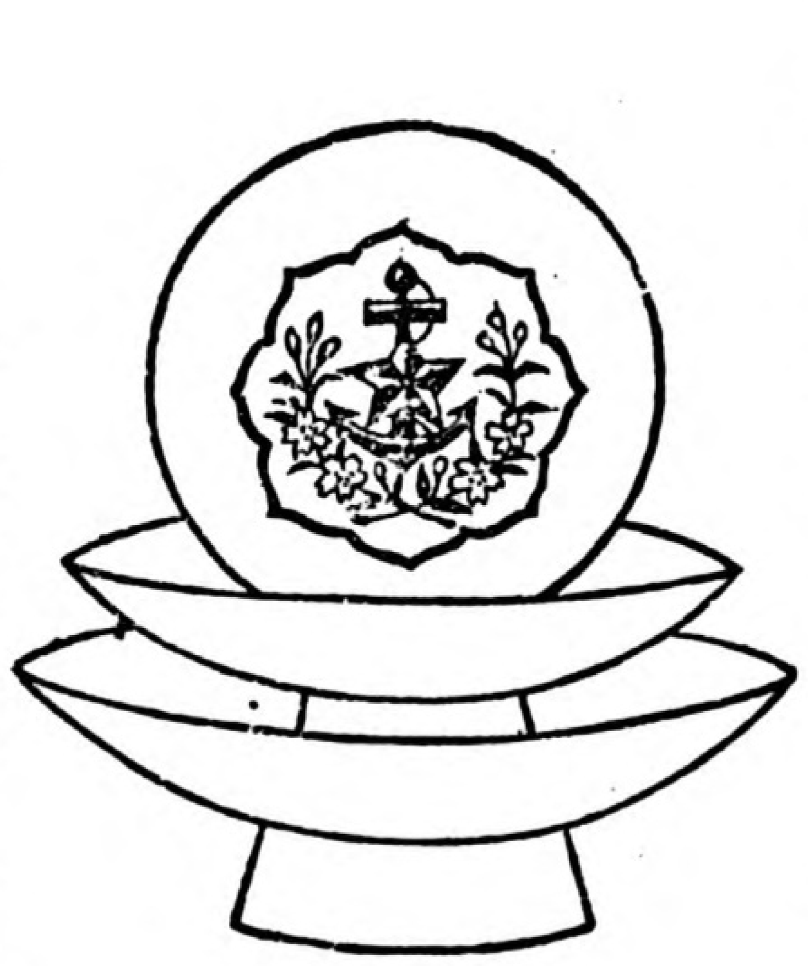
製造所 英國セルテンハム、エム、ヒーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

宮内省及賞勳局各府縣御用達

愛國婦人會御用

金銀木盃調製所



日本橋區新材木町十九番地
新城猪之吉商店
電話浪花参參貳八番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人取次販賣所
東京市京橋區桶町三二番地
田口組
（電話京橋九三二）

● 橋本 救世丸と胃腸病

赤十字院長
橋本子爵

赤十字院長橋本子爵の救世丸は最上の消化錠劑なり如何に頑固なる慢性胃腸病と雖も必ず、全治す最強の殺菌劑なるが故に肺結核病に最も有効なり、卓絶なる滋養劑なるが故に牛乳其他の滋養劑に勝り病後の衰弱に最も効あり

● 岩佐 壯婦丸と婦人病

（懸賞寫眞第四號）

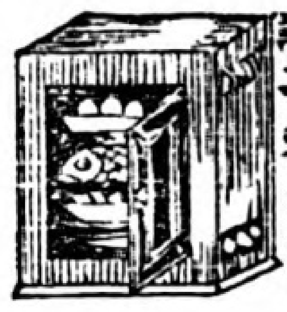
此の力味ある小兒の兩親は救世丸壯婦丸を家庭の常備藥として愛用せる御方なり

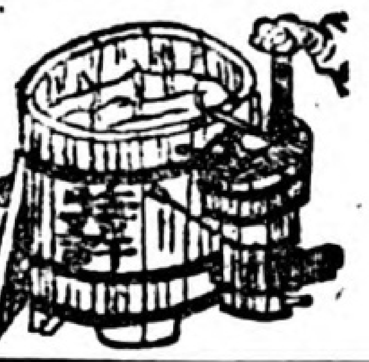
宮内省侍醫
岩佐男爵

宮内省侍醫岩佐男爵の壯婦丸は從來の陳腐なる漢法藥に非ず最も有効なる貴重藥にて調製し子宮病月經不調氣鬱動氣、逆上、腰痛、産前産後ヒステリー等婦人諸病の良藥なり、又めまい、頭痛、不眠、秘便、神經衰弱等には男女共に偉効あり
○救世丸壯婦丸は愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下を始め奉り各宮殿下の御嘉納を辱ふし尊常の賣藥に非ずして最も確實に最も有効なる事を證し得べし
○藥價兩劑共拾錢參拾錢七拾錢壹圓參錢八拾錢○効能書贈呈
○本劑は愛國婦人發行所に於て會員諸君には一割引にて御取扱申可候

本舖　東京深川公園　合資會社 福井堂
電話長浪花五六六九番
振替東京二三六六番

特許 名和式テンピ





嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり
定價 大二圓七十錢中二圓廿錢小一圓七十錢

説明書及商品目錄御申越次第送呈仕候

東京日本橋區蠣殼町二ノ十五
名和商店
電浪一一七七番
振替一〇二五四番
支店 神田和泉橋通り松永町十八

家庭お伽文庫

懸賞寫眞第五號

毎册菊判六十頁美裝讀切

第一篇	空中飛行船	猪物語
第二篇	谷風梶之助	霜降ハモコ男
第三篇	魔法の秘傳	曾呂利咄
第四篇	櫻川	森の家
第五篇	大妙藥	お伽團子
第六篇	大岡裁判	ラブンチ器
第七篇	ハムレット	續大岡裁判

實價十錢（送料二錢）六册六十三錢

春陽堂發行　振替東京一六一　東京市日本橋一七

各女學校御用

東京市日本橋區横山町一丁目十六番地
合資會社 天野卯兵衛商店
電話浪花一六四三番
振替東京四九七〇番

半ゑり　帯揚
帯　帛紗
伊達巻　るい
京都京極四条角
京里清
電一九三〇

皆様は節約の方法を御考へなさへましたか**シンガーミシン**を使つて御家庭内の裁縫をなさると家事費用節約上非常に有効で御座います

此**ミシン**で和洋服共手にて縫ふより綺麗に出來其上優美緻密なる刺繡まても出來ます

之れを確證する爲め手附金を申受けず**シンガーミシン**壹臺を御宅へ御屆申し無料で御試用を願ひ又弊社の最も好く熟練した女教師を差上げ無料で教授いたします壹臺の裁縫機械は家庭に是非必要であります然かも**シンガーミシン**は世界で最上等であります

（懸賞寫眞第六號）

御最寄の分店まで今日御註文を下さい

弊社の分店は
東京市京橋區銀座（電話新橋三四六六）
大阪市南區心齋橋筋（電話南九九六）
京都市三條通り柳馬場（電話三三七六）
横濱市吉田町一丁目
金澤市下堤町
名古屋市西區玉屋町
廣島市細工町
福岡市橋口町
仙臺市名懸町
札幌區南一條四五丁目
神戸市長狭通り

其他日本國中到る處の市や町にあります

横濱市山下町三十三番地
シンガーミシン會社日本中央店

高島平三郎先生著 竹久夢二插畫

再版 定價金壹圓 送料八錢

兒童を謳へる文學

高島先生は我國兒童研究の建設者なり本書は菊判三百頁色刷插畫十六枚より成り我邦過去二千五百有餘年來兒童を謳へる長歌、短歌、俳句、川柳、俚諺、俗謠、隨筆等を類別し爛漫化の如き兒童の天眞を紙上に活躍せしめ加ふるに色刷插畫は青年書家として自由畫の明星竹久夢二君の筆に成り有聲の書無聲の詩兩々相對して錦上花を添ふるの趣あり實に學校家庭座右に缺く可からざるの寶典なり

山に海に好の絶夏銷文學

（懸賞寫眞第一號）

高島平三郎先生著

女の心 附錄 嫁と姑

再版 定價四拾八錢 送料八錢

女は男に取りて一種の謎である而かも最も美はしい謎であるこの謎は人類の初まつて以來男子の研究せる處であるこゝに心理學の大家高島先生に由りて最も新らしき解決の鍵を與へられたのである先生の該博なる說明は千古不可解のこの謎を解きて餘ありと云ふべしその附錄嫁と姑の如きは心理の上よりの觀察我國古來の風俗習慣よりその嫁と姑の調和に說き及ぼし教訓ある文字趣味湧くが如し此書眞に現代に於ける活きたる『女大學』たるを信ず

發行所 東京麴町二丁目二番地 洛陽堂 振替東京二〇九一四番

賣捌所 東京堂 上田屋 東海堂 至誠堂 北隆館 文榮閣 文林堂 六合堂 大阪盛文堂

ばら齒磨

（懸賞寫眞第二號）

本品は各階級を通じて其需要者最も多く今や模範的齒磨として益〻愛用せらる

本舖 東京神田久右衞門町 東光園

立敎高等女學校長小林先生 家庭研究家村田天籟君 共著

婦人 修養と實際

最新 女藝全書

正價金九拾錢 郵稅八錢

（本書の體裁）クロース金文字入〇和裝仕立〇紙數四百頁口繪最美石版十二度刷

本書載する所家政、婦道、敎育、女禮、育兒、衞生、裁縫、料理、音樂、茶道、生花、等各編に亙り努めて平易に說き趣味と實益とを併せたるものなれば家庭に於ける最良の友なり

發行所 東京市京橋區南紺屋町一 昆一社（振替東京二〇五五四 電話京橋一六一五）

●●八月の卷發行●●

新婦人

第一年第五號● 定價 一冊二十八錢郵稅二錢五厘 六冊前金郵稅共一圓七十錢●

江島詣（油繪極彩色二十六度摺）……河村清雄筆

年增盛り 情人何處にか在る 佳人欄に凭つて思悠々（石版極彩色）伊藤靜雨筆

願くば輕羅となつて細腰に著かん……（コロタイプ實寫眞）

毎號好評を博せるアートペーパ寫眞版五十餘圖挿入

本誌前月號は七月一日午前十時全部賣切となり折角の御愛顧に背きたるは陳謝の外なく候本月號は刷出部數を倍加したれど一再び賣切とならんも難計候萬一につき豫め御斷り申置候

萬斛涼味 執筆者 奧原晴翠●尾島菊子●長谷川時雨●菅野まん子●初瀨浪子●國木田治子●手塚かね子●物集かず子●本多なを●鈴木歌江●各女史の才筆

多情多恨の前半生……津輕子爵令孫 江戶家いろ松 津輕あぐり子

人生婦人の身となる勿れ……小島ふみ子

（懸賞寫眞第三號）

發行所 東京市本鄉區龍岡町 振替東京三〇五八番 聚精堂 賣捌所全國各地書林雜誌店到る所の

米國ケミスト リリー 丼 藥工學士發明

リースー

口洗料として諸君の理想に應ずるは獨り此リースあるのみ

リース 一個は口中を清爽ならしめ咽喉齒牙の消毒に適す

リース（會食來賓家庭旅館割烹店其他一般の食堂に又俳優聲曲家には最も必要）の必要は卽刻御用ひあれ

賣價（大瓶三百個入 金八拾錢 小瓶百個入 金參拾錢）試用は郵券拾貳錢送れ

◎販賣所全國各地に有◎市內無料配達仕候

發賣 東京下谷長者町 振替一三九五七 竹島製劑所

特約 東京兩國公園前 電浪千百卅八番 吉田萬珠堂

●東洋一製造大販賣 卸し 小賣

◉かや夜具 夏冬 ざぶとん

外濠線駿河臺下停留場前 神田表神保町二

諸官省御用 （や）

矢田本店 電話本局二〇一八番

市內無賃配達

●階上 縱覽御隨意 珍柄高等品澤山有り

●綿質保險附●確實大勉强●正札引なし

一日發行 八月號 定價一冊五錢 送料壹錢半 拾錢

女子文壇

▲若き婦人の嬉き日は來れり ▲中澤弘光氏筆木版刷口繪あり

面白い讀み物 ▲涼み話……坂本太郎 ▲名つけ親……磯萍水 ▲曝書……浪之助 ▲いたづら日記……竹村千枝子

婦人の交際 ▲後藤大臣夫人 ▲江木博士夫人 ▲日向夫人 ▲寺島伯夫人 ▲與謝野夫人 ▲嘉悅孝子其他

三都の橋 ▲東京の橋（花外）▲京都の橋（澤村文學士）▲大阪の橋（梅溪）

若き女の讀物 ▲男爵夫人の買物振り……婦人記者 ▲世界の漂浪者と生活を共にする……市子 ▲周圍の人……珠野すゞ子 ▲張合のある女の時代……山崎千代子

日記と紀行 ▲暴風雨のあと……（水野葉舟）▲ゼラニアム（內藤千代子）外一篇

明治四十四年八月一日發行（毎月二回一日、十五日）

（定價金三錢五厘一ヶ月金七錢郵稅不要）（廣告料一行金六拾錢）編輯兼發行兼印刷人 竹內貞三 山澤俊夫 發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所 ●電話番町千七百四十五番 ●同五百二十番 印刷所 東京市小石川區久堅町 博文館印刷所 ●振替貯金口座東京壹三八一番

愛國婦人廣告取扱

神田三河町一ノ一九 博報堂
京橋區宗十郎町一七 正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱

京橋區南槇町七 大與社
京橋區南紺屋町一 一星社
神戶市元居留地仲町三八 東洋廣告取次會社

神田須田町廿七 金蘭社
京橋區廣告社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會會報

本部記事

職員囑託

長野支部長 千葉久子
同顧問 千葉貞幹
岡山支部長 大山德子
同顧問 大山綱昌
鹿兒島支部長 谷口美代子
同顧問 谷口留五郎
大分支部長 昌谷槌子
同顧問 昌谷彰

職員退職

鹿兒島支部長 坂本急子
同顧問 坂本彰之助

有功章贈與

青森支部幹事 高橋きん子

功績に依り三等有功賞贈與(七月五日)

一等有功章 臺灣支部臺中幹事部委員 木村松之助
同 同 市來半次郎
同 幹事 木村喜美子
同 同 坂本伊佐子
二等有功章 委員 山田壽藏
同 同 後藤政次郎
同 幹事 山田浦子
三等有功章 同 水野はつ子
同 同 松岡琴子

功績に依り頭書の有功章贈與(七月八日)

函館支部 杉野きた子　同 高橋かめ子
同 折原きん子　同 新田るい子
同 菅谷かの子　同 梅津八重子
同 小杉でん子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(同七月十四日)

函館支部 山田そよ子　同 村上つね子
同 山崎いし子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(七月十五日)

函館支部 品田さた子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(七月十八日)

青森支部評議員 北谷とよ子
同 同 上田なか子
同 幹事 西谷まさ子

功績に依り三等有功章贈與(七月廿日)

教養所記事

▲教養生の歸省　本會教養所生徒の内第一期生左記四十四名は入所以來三ヶ年に成りたるより暑中休暇を利用し郷里の尊族へ面會の爲め各自歸省せしむる事となりたるが汽車賃は鐵道院の厚意により賃金半額の特典を與へられ歸省者は各自左の割引證を持參する事となりたり。但し本日より夫々歸省の途に付き往復日數共約三週間にて歸所の筈なり。

> 乘客賃金五割引ノ證
>
> 原籍地
> 氏名及年齡
> 乘車區間 自　驛 至　驛
> 乘車年月日 明治四十四年　月　日
> 本證ハ愛國婦人會ニ於テ教養中ナル戰死者ノ遺兒及癈兵ノ兒童ニ限リ使用シ得ルモノトス
>
> 明治四十四年七月十七日
> 鐵道院營業課印
>
> (本證ハ本年九月末日以後無効)

▲歸省教養生人名

北海道支部派出 鞍留龜太郎
同 島田一壽
京都支部 同 小川右一
長崎支部 同 荒木彌太郎
新潟支部 同 川田貞一郎
群馬支部 同 鹽原康三
栃木支部 同 上吉原利平
三重支部 同 佐田信一
愛知支部 同 長谷川信
同 永井鞠之助
靜岡支部 同 永井一期
福島支部 同 大和田卯之吉
石川支部 同 小酒孝盛
富山支部 同 伊林定太郎
鳥取支部 同 前島幸寛
同 船越繁藏
香川支部 同 蒔田右三郎
同 藪内權次郎
同 金子漸
福岡支部 同 久保隆
同 金丸義雄
鹿兒島支部 同 森田重榮

同 山口久太郎
同 山川敏雄
兵庫支部 同 山脇芳太郎
新潟支部 同 齋藤宗次郎
群馬支部 同 萩原正博
茨城支部 同 國友末雄
奈良支部 同 太田茂
同 伊藤藤三郎
同 梶田金義
同 伊藤秀一
同 秋山末次郎
同 土屋吉之助
同 金谷磯治
同 北野繁次郎
廣島支部 同 岩田芳盛
同 酒井福松
愛媛支部 同 山田榮
同 渡部一美
同 河合盛經
熊本支部 同 大坪進
函館支部 同 野村芳雄
同 渡邊富太郎

彙報

▲手藝研究所事項　今回左の通り手藝研究所假規約及細則を設定されたり。

▲愛國婦人會手藝研究所假規約

第一條　愛國婦人會手藝研究所は家庭に於ける婦人の副業に依り各種の生産力を補成し此より生ずる利益を以て愛國婦人會の基金を扶殖するを目的とす

第二條　本研究所は愛國婦人會員中の有志者を以て組織し愛國婦人會各支部に之を設置す

第三條　此規約に賛成の婦人は本研究所會員とし毎年若干の手藝作品を提出するものとす
但製作品の材料は自辨とす

第四條　愛國婦人會員の醵金額に達する手藝製作品を年々寄贈せらるゝ婦人は別に年醵金を要せずして愛國婦人會員となることを得

第五條　本研究所は愛國婦人會長並に各支部長の監督を受くるものとす

第六條　本研究所の事務は愛國婦人會本部の統轄を受け各支部の管理を受くるものとす

第七條　本研究所の手藝製作品は之を販賣し其利益は特別積立金として各支部の保管に附す

第八條　特別積立金は愛國婦人會長の允許を經るにあらざれば使用することを得ず

第九條　本研究所に要する經費並に本規約の細則は各支部に於て適宜に之を定め本會長の認可を受く可し

▲愛國婦人會手藝研究所細則

第一條　本研究所會員は規約第一條の目的に依り各家庭に於て物品を製作し之を其研究所に提出し本所は相當の手續に據り物品を販賣し毎月々末に於て其原料代價、工賃並雜費の拂戻を爲す

第二條　研究所に提出せし製作品は特別の事情あるものゝ外取戻すことを得ず

第三條　提出の製作品にして檢査員に於て價値なしと認むるときは之を受收せざることあるべし

第四條　製作品は總て定價票を附し販賣するを要す

第五條　本所員たらんと欲する者は左の盟約書を提出せらるべし

> 入會盟約書
>
> 貴手藝研究所の旨趣を賛成し入會致度候御許可之上は規約に違背せざることを盟ふ
>
> 明治　年　月　日
>
> 住所(父兄夫)　姓　名印
>
> (特別會員)(通常會員)　紹介人　姓　名印
>
> 愛國婦人會手藝研究所御中

第六條　本所員にして未だ愛國婦人會に入會せざる者は其製作品の工賃を以て年醵金に充て入會することを得

第七條　本所に委員を置く
一　委員長　一名
一　副委員長　一名
一　委員　若干名
委員長は本所一切の事務を總理す
副委員長は委員長を補佐し委員長差支への場合は之を代理す委員は本所製作品の品目撰定、原料購入、物品の出納、出席者氏名の記帳等を掌る

第八條　委員は出席當番を定め置き當番には必ず出席し當日出席の會員氏名、原料の出納、製作品の收入賣却を記帳し現金は會計主任に交付せらるべし

第九條　委員は製作品目を定め之を會員に指示せらるべし

第十條　愛國婦人會本部及支部に本所事務擔當者を置き事務員を以て衆務せしむ

第十一條　本部事務擔當者は委員長の指揮を受け諸般の事務に從事す事務擔當者の内一名を以て會計主任とす

第十二條　製作品は支部便宜の場所に於て展覽會を開き公衆の縱覽に供し廣く販賣するを要す

第十三條　展覽會に於ては各製品を審査し優良品に對しては之を表彰し或は相當の賞品を贈與するものとす

第十四條　規約第七條の特別積立金は公債證書又は確實なる銀行等に預金として保管するを要す

地方記事

東京支部

▲芝區幹事部の遺族其他慰藉　東京支部芝區幹事部は一同協議の上同區在籍軍人遺族癈兵並に現役兵士家族にして生活困難なるものを慰藉するの目的を以て實地踏査の結果左記の者に對し去る七月五日幹事村田うた子、青木要子、曲木春子、勝野愛子、鹽谷萬壽子、山口袖子、岡村保子等立會の上私費を以て各左記頭書の如く物品を贈與したるが何れも其厚意に感謝したり、因に左記人名中秀野みき、石井美代の兩人は軍人關係なきも孝子にして家計困難のものなるにより特に贈與したるものなり。

住所	種別	氏名	物品	數量	金額
新網町南一〇	現役	橫山よれ	反物	一	二圓
同北九	遺族	淺倉せい	同	一	一圓
同北五	同	渡邊要藏	同	一	一圓
同南一七	同	前田ふよ	同	一	一圓
本芝下町七	現役	荒舘かつ	同	一	二圓
三田四國町七	遺族	淺沼さと	同	二	一圓
同二	同	石井幸吉	同	二	五十錢
三田小山町六	癈兵	中藤英門	同	二	一圓半錢
田村町八	現役	長田惣[illegible]	同	一	二圓
愛宕町一二	遺族	栗屋藤八郎	同	二	二圓
同一二	現役	佐竹ろく	同	二	一圓
同一五	遺族	關伴三郎	同	一	二圓
白金三光町三三	同	鈴木よし	同	一	五十錢
櫻川町一七	癈兵	武田金太郎	同	二	五十錢
濱松町一一五	遺族	鷲尾六三郎	同	二	一圓
三田一一二三	同	玉井磯吉	同	二	五十錢
同一二六	同	中村かれ	同	一	五十錢
西久保廣町四四一三	同	稲川豐吉	同	一	五十錢
松本町二八	同	梅田かつ	同	一	五十錢
同	同	平川萬吉	同	一	一圓
三田臺裏町一五	同	名倉幸太郎	同	一	一圓
幹事より直接交附	同	田中長吉	同	一	五十錢
同	同	谷萩はま	同	一	五十錢
同	癈兵	磯崎鎌八	同	一	一圓
三田四國町、二	孝子	秋野みき	同	一	一圓
同	同	石井美代	同	一	一圓

京都支部

▲幹事部總會　京都支部相樂郡幹事部第四回總會を去る四月十七日開催し、當支部よりは支部長代理として評議員三輪富貴子、講師として聘したる大阪支部員富樫眞喜子、並に主事大鐘暢氏等同伴臨席せり。當日は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

午前十時より正午迄木津町正覺寺に軍人遺族並に癈兵諸氏集合、同郡內の戰病死者追悼法要を執行し、支部長代理を始め同伴職員等例席の上其式を終り、夫れより午餐の饗あり、午後一時より二時迄同町武德殿に於て日本赤十字社篤志看護婦人會京都支會相樂郡分會發會式擧行に引續きて本會同郡幹事部第四回總會を開けり、其の式順左の如し。

一、當幹事部々長明治三十七八年戰役に關し本會に賜はりたる令旨捧讀
二、支部長祝詞(代讀)
三、幹事部長答辭
四、富樫眞喜子の講話
五、會長の祝電

尚式全く終了の後餘興として能狂言あり、散會せしは午後五時なりき。因に當日は生憎終日の降雨にて來會者多からず遺族並癈兵五十八、會員七十八、來賓六十人計百八十名にして來賓の重なるは白石警察署長、土橋府會議員、松田郡會議長等なりき。

▲幹事部總會　去る五月十六日午前十一時より京都支部乙訓郡幹事部第五回總會を同郡向日社境內に於て開催、支部よりは大森支部長評議員牟井佐賀子、同馬杉久子、幹事馬場きぬ子、室谷事務員等出張、左記順序により式を終り、式後神苑幽靜なる池畔にて園遊會を催し午後二時無事散會したり。當日の來會者約二百五十名、却々の盛會なりき。

一、御沙汰書捧讀(森本顧問)
二、支部長祝詞
三、本會長並に朝鮮旅行中なる同郡久我村委員の祝電朗讀
四、森本幹事部長答辭
五、宇田小卷子外二名に對し賞品授與
六、閉會の辭(幹事部長)

福井支部

▲幹事部長協議會　福井支部各郡市幹事部長協議會は去る七月六日七日の兩日を以て日本赤十字社福井支部內に於て開催せり、出席者は中村支部長、池松支部副長、評議員には松平侯爵夫人、遠山三矢伊東の各夫人、相談役、主事、各郡市幹事部長及事務員等なり、中村支部長には先づ一場の挨拶を述べ且つ曰はく、御承知の如く本會は畏くも 皇室に於かせられても殊に本會主旨を愛でさせ給ひ無上の光榮を有する他に其の比を見ざる婦人會なれば今後益々本會の爲め盡されん事を仰望する旨を述べられ、其他婦人として勤儉の道を尙ぶべき等熱烈なる訓示あり、それより左記の協議に移り種々協議の末提出事項は着々實行の事に決定せり。

一、會員募集に關する件
一、未納金整理に關する件
一、軍人遺族廢兵救護に關する件
一、軍人遺族癈兵慰問に關する件
一、教養所生徒募集に關する件

其他手藝品作製、會務普及、會員異動等の打合せをなす

兵庫支部

●明治四十三年度事務成績(續)

▲慰問　本年九月當支部姫路幹事部に於て金百拾六圓貳拾五錢募集の上松方舊總裁の下に設立の水害罹災者救濟會に寄贈せり

當支部下神戸、姫路市、赤穗、多可、印南、宍粟、出石、加西、有馬、飾磨、美方郡等各幹事部に於ては各有志者より金五拾七圓參拾八錢を醵集し青森市火災の際軍人遺族罹災者救濟の爲め寄贈せり

▲臺灣生蕃人討伐隊へ慰問袋寄贈高は有志者より醵出の料金壹千壹百四十四圓八拾七錢五厘と現品四個なり

▲葬祭　本年四月十五日第六號潜水艇にて公務の爲め死亡したる海軍兵曹吉原悼治氏同年五月三日村葬執行により支部長香花料並に弔詞發送し所在幹事をして會葬せしむ。

又右同樣の理由に依り死亡したる海軍二等機關兵曹檜皮德之丞氏村葬五月二日執行により支部長より前同斷

本年五月六日第十師團姫路城南練兵場に於て戰病死者招魂祭執行に付當支部より供物料金壹百圓を贈り支部長は幹事數名及主事を隨へ祭典に參列せり

本年五月卅一日當支部神崎郡幹事部幹事三木つた子死去に付會長並に支部長よりの弔詞を發送し該幹事部職員をして會葬せしめたり

本年九月四日當支部川邊郡幹事部顧問肥田野五郎死去により香花料並に會長及支部長よりの弔詞を發送し重見主事及該幹事部職員をして會葬せしめたり

本年九月廿六日臺灣討伐隊陸軍歩兵二等卒宮草淸吉郷里に於て村葬執行に付前同樣所在幹事部長をして支部長代理會葬せしむ

▲集會　本年一月十日市內山手倶樂部に於て職員新年宴會を開催せしこと一回同五月廿八日同所に於て地久節祝賀會を催せしこと一回なりし

▲職員管外出張　本年三月廿七日教養所生連行として支部事務員春名淳上京一回同五月七日第九回總會參列として主事上京一回なりし

宮城支部

●明治四十三年度事務成績

▲會員の增減　本年度入會轉入等九百九拾四人、同轉出退會死亡等除籍したる者四百六拾四人、差引五百參拾人の增加

▲會費收入の狀況

收入金五千百拾參圓貳拾七錢

內

一時出金貳百八圓六拾五錢

內

特別拾貳人　金八拾九圓七拾錢
通常參拾五人　金百拾八圓九拾錢

年醵金四千九百四圓四拾錢

內

特別五百貳拾參人　金壹千四拾四圓
通常三千八百六拾貳人　金參千八百六拾圓六拾貳錢

▲臨時救護　贈與金額七百拾四圓四拾錢

內

金參百六拾七圓四拾錢(乙百六十七戶へ贈與)
金貳百圓(丙五拾戶へ贈與)
金百四拾七圓(丁貳拾壹戶へ贈與)

▲定期救護　贈與金額金貳千九百拾壹圓

此の救護人員四百九拾人
最高贈與額一人に付貳拾圓
最低贈與額一人に付五圓

▲教養生選出　其住所氏名左の如し

宮城縣黑川郡吉岡町　畑谷太兵衛

▲經費收支總額及現在剩餘金

收入金參千九百八拾六圓廿六錢七厘
支出金貳千四百拾六圓貳拾貳錢壹厘
剩餘金千五百七拾圓四錢六厘

▲評議員會　評議員會を開くこと五回にして其諮詢したる重なる事項左の如し

一、四十二年度の決算に關する事
二、給與規程及賞與內規設定に關する事
三、評議員會々則の改正に關する事
四、四十四年度收入支出豫算に關する事
五、定期救護金及臨時救護金贈與に關する事

▲職員の異動

囑託　九拾壹人
解囑　九拾七人

內

評議員囑託　壹人　解囑　壹人
支部參與囑託　壹人　解囑　壹人
市郡幹事部長囑託　參人　解囑　四人
同顧問囑託　參人　解囑　參人
町村幹事囑託　參人　解囑　六人
其他の囑託　八拾壹人　解囑　八拾貳人

▲臺灣討蕃隊慰問　慰問袋募集高參百參拾貳個

此金額八拾參圓
應募會員貳百七拾壹人

▲災害慰問寄附金品の募集　四拾參年八月縣內は前古未曾有の水害に遭遇せるに依り其の罹災者を慰問するの目的を以つて當支部內職員は同情者に其の慘狀を愬へ寄附金品を募集し取纏めたる金品は四拾參年拾貳月拾參日宮城縣に寄贈し罹災者に分配することゝなしたり其金品高及應募人員左の如し

一、金貳百七拾壹圓五拾六錢　寄附總高
一、此應募人員四百五拾參人
一、手拭貳百本

和歌山支部

●明治四十三年度事務成績

▲會員數　特別會員數三百三十九名、通常會員數四千三百五十九名計四千六百九十八名本年中新募會員通常二十八名

▲會費　會員醵集總額三千三十五圓二十五錢此一人平均率金六十四錢六厘。

▲定期救護金　千百五十四圓支出、此救護人員內一人四圓宛二百十七名、丁一人七圓宛三十九名。

▲支部經費收支並翌年度越高　支部經費收入總額千八百三圓五十八錢四厘、同支出總額八百六十三圓二十三錢五厘、翌年へ繰越金九百四十圓三十四錢九厘。

▲祝賀會　一月八日篤志看護婦人會員聯合新年互禮會を赤十字社支部樓上に開く來會者五十餘名、支部副長は一場の所感と將來に對する希望を述ぶ、後祝宴に移り餘興として福引狂言等の催ありたり。

九月一日、日韓併合祝賀會を同上篤志看護婦人會員と合同し同所に開く、支部長の祝詞終りて祝宴に移り餘興として薩摩琵琶の彈奏あり。

▲軍隊歡迎　四月二十六日當地步兵聯隊朝鮮派遣の任務を了へ歸還に付き當支部門前にて役員參集歡迎せり。

▲慰問袋寄贈　八月、本部の計畫に係る討蕃隊へ寄贈の慰問袋七百九十六個此代金百九十九圓八十一錢を寄贈したり。

●正誤　前號本部記事會告中朝鮮委員本部とあるは朝鮮本部の誤、靜岡支部記事中濱松幹部とあるは濱松幹事部の誤植につき訂正す

愛國婦人第二百三十號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹內貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN